

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	言語文化	2	言文901	東京書籍	新編 言語文化

<p style="text-align: center;">目標 【学習指導要領】</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
<p style="text-align: center;">目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>・話すことと聞くこと、書くこと、読むこと、読むことと聞くこと及び書くことについてレポート及び視聴報告書を通して養えるが、話すことについては機会が少ないため、スクーリングでは発表や発言の場を設ける。</p> <p>・古典において訓点を付け、必要に応じ書き下し文を用いて理解しやすいようにする。</p>
<p style="text-align: center;">評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法	
				回	締切日	時期	内容	時間		
後期 (前期)	10月 (4月)	3 詩歌 命をうたう 柳あをめる 雪の深さを 冬が来た 少年の日 I was born	・詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。	第2回		10月 (5月)	メディア学習にて免除	0	レポート 視聴報告書	
	10月 (4月)	現代文編 1 随筆 生きる喜び さくらさくらさくら 心の自由 2 小説1 触れ合う心 とんかつ オレンジの実る中庭	・引用歌や体験談に注意しながら、日本独自の桜に対する感性について理解を深める。 ・「旅」と「物語」の共通性について理解し、どのようなときに「心の自由」を感じるのかを考える。 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・場面や人物の設定における特徴を捉え、作中の「オレンジ」が持つ意味について考える。	第1回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)			レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント		
	11月 (5月)	4 小説2 葛藤する心 羅生門 5 小説3 現実の向こう側 夢十夜 デューク	・描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。 ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・多彩な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 ・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。	第3回		スクーリング 10～11月 (6～7月) (於相生本校)	小説の読み方 古文・漢文の読み方 ・実際に音読し、感じたこと、考えたことを述べる。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	11月 (5月)	古文編 1 古文入門 古文の世界へ 古文に親しみ 児のそら寝 検非違使忠明 用光と白波 絵仏師良秀 2 随筆 日々の思い 徒然草 枕草子 3 詩歌 うたの心 折々のうた	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語の決まりを理解する。 ・説話の面白さを味わい、古文の世界に親しみ。 ・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。 ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えて、内容を解釈する。 特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	第4回			小説の描写から作者の狙いを考える。 ・現代語や日本語との違いを味わい、感じたこと、考えたことを述べる。		レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	11月 (6月)	漢文編 1 漢文入門 漢文に親しみ 訓読の基本 故事成語-三編 2 漢詩 漢詩を味わう 絶句と律詩-一七首 3 論語 論語のことは 論語-八章 4 史話 史話を楽しむ 史話-三編	・漢文の特色を知り、きまりを理解する。 ・格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しみ。 ・漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しみ。 ・漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。 孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 ・話の展開に即して、内容を理解する力を身に付ける。 ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話の面白さを味わう。	第6回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)				レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	12月 (7月)	4 物語 伊勢物語 平家物語 5 紀行 旅の心 奥の細道	・物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を味わう。 ・作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。 ・文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。	第5回		12月(7月)	メディア学習にて免除	0	レポート 視聴報告書	
	1月 (9月)	単位認定試験					(於相生本校)			考査
	面接指導(単位時間) 合計								1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	論理国語a	2	論国701	東京書籍	新編論理国語

目標 【学習指導要領】	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	文章の主旨や筆者の主張を的確に捉えられるように、語句や慣用句の意味を正しく理解させる。また、それらを自分の表現に活用できるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、使われ方についても理解することができたか。また、個々の段落の内容と相互段落の関係を理解することができたか。 【思考・判断・表現】 評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取ることができたか。また、提示された問題を的確に把握することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を踏まえ、自分の考えをまとめることができたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1.広がる風景 ・「対話とは何か」 ・「世界をつくり替えるために」	評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取ることができる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	慣用句の意味を正しく理解し、活用できるようにする。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	5月 (11月)	2.考える手がかり ・「少女たちの「ひろしま」」 ・「「ふしぎ」ということ」	文章の構成や内容を的確に捉えながら読んで、論じられている事柄について考えることができる。	第2回					
	5月 (11月)	3.人間と知性 ・「学ぶことと人間の知恵」 ・「ラップトップ抱えた「石器人」」	人間と知性を巡る複数の評論を読んで、自分の考えを深める。	第3回					
	6月 (11月)	4.現実の中で ・「思考の肺活量」 ・「安心について」	表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握する。	第4回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	6月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	6月 (12月)	5.ものの見方 ・「弱肉強食は自然の摂理か」 ・「複数の「わたし」」	学問的な見地から書かれた評論を読んで、ものの見方を広げる。	第5回					
	7月 (12月)	6.働く喜び ・「はじめに「言葉」がある」 ・「楽に働くこと、楽しく働くこと」	さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深める。	第6回					
	9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)			1
面接指導(単位時間) 合計								1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	論理国語b	2	論国701	東京書籍	新編論理国語

目標 【学習指導要領】	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	文章の主旨や筆者の主張を的確に捉えられるように、語句や慣用句の意味を正しく理解させる。また、それらを自分の表現に活用できるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、使われ方についても理解することができたか。また、個々の段落の内容と相互段落の関係を理解することができたか。 【思考・判断・表現】 評論を読んで、表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取ることができたか。また、提示された問題を的確に把握することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を踏まえ、自分の考えをまとめることができたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	1.時代をひらく ・「最初のペンギン」 ・「豊かさと生物多様性」	論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉える。	第7回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	自分の考えを的確に表現するための方法を学習する。(語順・読点・接続語)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	11月 (5月)	2.新しい視点から ・「物語の外から」 ・「カフェの開店準備」	体験に基づく文章を読み、表現に注意して筆者の考えを捉える。	第8回					
	11月 (5月)	3.科学と人間 ・「鏡としてのアンドロイド」 ・「ロボットが隣人になるとき」	科学や哲学の見地から書かれた評論を読んで、人間について考えを深める。	第9回					
	11月 (6月)	4.豊かな認識 ・「言葉は「ものの名前」ではない」 ・「科学的「発見」とは」	評論を読んだ的確に理解し、論じられている物事への認識を深める。	第10回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	11月 (6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月 (6月)	5.知のゆくえ ・「知識における作者性と構構性」 ・「もう一つの知性」	対比に注意して評論を読み、筆者の主張を的確に捉える。	第11回					
	12月 (7月)	6.明日をみつめて ・「ホンモノのおカネの作り方」 ・「未来のありか」	具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。	第12回					
	1月 (9月)	単位認定試験							
面接指導(単位時間) 合計								1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	文学国語a	2	文国701	東京書籍	文学国語

目標 【学習指導要領】	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】	・内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。その際、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	1 随筆 光の窓 雨月物語	・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16) スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
		2 小説1 山月記	・小説に描かれた世界を味わい、そこに表された人間の在り方について考えを深める ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。							
	5月 (10月)	2 小説1 窓 【言語活動】小説を創作する 文学への扉1 変身ということ	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。	第2回		小説の読み方	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント			
		3 評論1 言葉を生きて 詩と感情生活 【言語活動】書評を書く	・評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。 ・筆者の考えを表現して読み取り、「生きていること」と「言葉」の関係について理解を深める。 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。							
	5月 (10月)	4 小説2 山椒魚 沖繩の手記から 文学への扉2 小説は誰のものか	・小説を読み、そこに込められた寓意や描かれた人々の姿から、生きていることへの考えを深める。 ・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。	第3回		登場人物の行動や心理描写から感じたこと、考えたことを述べる。 ・登場人物の置かれた状況を自分に置き換え、その場その場で自分ならどうするかを考える。	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント			
	6月 (11月)	5 小説3 ころも 文学への扉3 襖という道具	・小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取る。 ・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	第5回						
	6月 (11月)	4 詩歌 鉄竹 永訣の朝 参考 宮澤賢治 硝子の駒ー短歌抄 モードの変遷 【言語活動】共同で詩を創作する	・詩や短歌と、短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。	第4回		6月 (11月)	メディア学習により免除	0		レポート 視聴報告書
	6月 (11月)	6 評論2 文学のふるさと 文学の未来 【言語活動】評論や解説を参考に論述する	・具体例や引用と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学の価値や意義について考える。 ・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよるところについて理解を深める。 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	第6回						
	6月 (11月)	7 小説4 鞆 参考 安部公房 あの朝 【言語活動】翻案作品を創作する	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み、現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 ・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。			(於相生本校)	1	1		1
	9月 (1月)	単位認定試験								
						面接指導(単位時間) 合計			1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	文学国語b	2	文国701	東京書籍	文学国語

目標 【学習指導要領】	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。その際、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。
評価の観点	【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法	
				回	締切日	時期	内容	時間		
後期(前期)	10月 (4月)	2 小説1 コンビニの母 【言語活動】小説の人称を書き換える	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。	第8回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	10月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
		3 詩歌 夏の姿 帰途 小諸なる古城のほとり 金剛の露－俳句抄 平気－正岡子規 【言語活動】アンソロジーを作る	・詩や俳句と、俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。							
	11月 (5月)	1 随筆1 国語から旅立って 書かれた風景の中へ	・随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 ・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分の関係について考えを深める。	第7回		スクリーニング 10月～11月 (6月) (於相生本校)	小説の読み方 ・登場人物の行動や心理描写から感じたこと、考えたことを述べる。 ・自分が演技として表現するとき、気を付けることや強調したいことについて考えを述べる。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		2 小説1 檸檬	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。							
	11月 (5月)	4 随筆2 空っぽの瓶 クレールという女	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。 ・人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。 ・長い時間を書けて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	第9回		スクリーニング 10月～11月 (6月) (於相生本校)	小説の読み方 ・登場人物の行動や心理描写から感じたこと、考えたことを述べる。 ・自分が演技として表現するとき、気を付けることや強調したいことについて考えを述べる。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		5 戯曲 父と暮らせば 【言語活動】小説を脚本に書き換える	・戯曲によって描かれた世界を捉え、言語表現の多様な在り方と可能性について考える。 ・対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。							
	11月 (6月)	8 小説3 葉桜と魔笛 蠅 【言語活動】さまざまな資料を調べて発表する	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、それぞれの作品世界を味わう。 ・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	第12回		中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	10月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月 (6月)	6 小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解し、人間の生き方について考えを深める。 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。	第10回						
	12月 (7月)	7 評論 演技する「私」 映画の可能性のために 【言語活動】映画と原作を比較する	・評論に示された筆者の論を精査し、芸術作品のありようについて考える。 ・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 ・映画と小説を題材にした評論を読み、作品を成立させる視点のありようについて理解を深める。	第11回		(於相生本校)	1	1	1	1
	1月 (9月)	単位認定試験								
面接指導(単位時間) 合計								1		

2026年度 通信教育年間指導計画

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
国語	古典探究b	2	古探701	東京書籍	新編古典探究

目標 【学習指導要領】	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	古典に親しみながら正確な理解と的確な読み取りができるよう、レポート及び視聴報告書では系統的かつ多様な学習活動を行うような課題に取り組む。スクーリング時には、古典作品をより深く読み味わうとともに、考え話し合う学習活動に取り組む。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法
				回	締切日	時期	内容	時間	
後 期	10月	1 随筆を味わう 枕草子・方丈記	・随筆を読み、自然や人間に対する古人の感性を理解する。 ・言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。	第1回	中間締切 10/29 最終締切 12/16	10月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月	2 物語を楽しむ 伊勢物語 大和物語	・物語に着目しながら登場人物の心情や行動を捉える。 ・作中の歌が持つ意味に着目し、歌物語の特色について考える。 ・歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。	第2回					
	11月	3 歴史物語を読む 大鏡	・歴史物語を読み、その趣旨を捉え、登場人物のものの見方、感じ方の特色を理解する。 ・登場人物の心情を捉え、ものの見方や感じ方を理解する。	第3回					
	11月	4 物語を味わう 源氏物語 7 伝承の世界 古事記	・日記文学・近世の文章の特色を理解し、人々のものの見方や感じ方、考え方について理解を深める。 ・上代の文学の表現の特色を理解し、古人の心情や考え方を理解する。	第4回	中間締切 12/9 最終締切 12/16	スクーリング 10～11月 (於相生本校)	・古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷について話し合い、報告する。 ・諸子百家の思想で誰の意見に賛成できるか報告する。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月	1 小話を読む 小話 2 古詩を味わう 古体詩 3 中国の思想 道家	・漢文を正確に訓読し、話の展開や内容を味わう。 ・人物の生き方や考え方に触れ、人間の生き方について考えを深める。 ・詩に詠われた情景や作者の心情を読み取り、ものの見方や感じ方を豊かにする。 ・人間関係や時代の状況を踏まえるとともに、古代中国の思想に触れ、内容を的確に捉える。	第5回					
	12月	4 中国の思想 儒家	・表現に込められた詩情や内容を読み取る。 ・中国の思想家について考える。	第6回					
	1月	5 中国の思想 儒家と道家	・表現に込められた詩情や内容を読み取る。 ・中国の思想家について考える。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・我が国への影響について考える。						
	1月	単位認定試験				(於相生本校)			1

面接指導(単位時間) 合計 1

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
地歴	地理総合	2	地総901	東京書籍(株)	地理総合

<p style="text-align: center;">目標 【学習指導要領】</p>	<p>社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分析、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
<p style="text-align: center;">目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活や地域課題と関連付けながら、地図やGIS、統計を活用して自分のベースで情報を調べ整理する力を育てる。 ・レポートやメディア学習を通して、地理的視点から課題を分析し、自分の考えを根拠をもってまとめ表現する力を養う。 ・自分の生活や将来と結び付けて地域や社会の課題に関心を持ち、主体的に学び続けようとする姿勢を育てる。
<p style="text-align: center;">評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】 基礎的な知識を理解し、地図や統計・GISを活用して情報を整理できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 地理的な視点で考察し、根拠をもって自分の考えを表現できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組み、スクーリングを通して学びを深めることができたか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 私たちが暮らす世界 2節 地図や地理情報システムの役割	私たちが暮らす世界の特徴を捉えさせるとともに、地図や地理情報システム(GIS)の役割を理解させ、地理的な見方・考え方を身に付けさせる。	第1回		4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	5月 (11月)	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第2章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	地図や各種資料を活用して現代世界の特徴を読み取らせるとともに、生活文化の多様性を理解させ、国際理解の基礎を身に付けさせる。	第2回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)					
	5月 (11月)	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	地形や気候といった自然環境が人々の生活文化に与える影響を理解させ、地域ごとの特色を地理的な視点から捉えさせる。	第3回						
	6月 (11月)	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 4節 生活文化と社会環境①産業 5節 生活文化と社会環境②宗教・民族 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	産業や宗教・民族などの社会環境が生活文化に与える影響を理解させるとともに、地球環境問題や資源・エネルギー問題を捉え、国際協力の必要性について考えさせる。	第4回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	身近な食から世界を読み解き、日本の食料安全保障を考察する。 (講義)	1		レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月 (12月)	第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 7節 持続可能な社会の実現をめざして	人口・食糧・都市・民族問題などの地球的課題を理解させるとともに、それらの解決に向けた取り組みや持続可能な社会の実現について主体的に考えさせる。	第5回						
	7月 (12月)	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 さまざまな自然災害と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	日本の自然環境の特色や自然災害と防災について理解させるとともに、生活圏の調査を通して地域の課題や将来の展望を主体的に考えさせる。	第6回						
	9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)				1
面接指導(単位時間) 合計								1		

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
地理歴史	地理探究a	2	地探701	東京書籍	地理探究
目標 【学習指導要領】		社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸現象に関して、世界の空間的な諸現象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる現象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸現象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。			
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】		・地理総合で身に着けた知識を活用しつつ、地形や気候、自然環境、自然災害について図や写真などを活用し理解深めさせる。 ・現代の食糧、資源エネルギーの諸問題についての背景を理解するためグラフを活用し、グラフを読み取る力を養う。			
評価の観点 (観点別評価)		【知識・技能】 地理に関わる諸現象に関して、世界の空間的な諸現象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 地理に関わる現象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したことを表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理に関わる諸現象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度がみられたか。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようという意欲がみられたか。			

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)			
				回	締切日	時期	内容	時間				
前期(後期)	4月(10月)	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形 第2節 気候と自然環境	世界の様々な地形について特徴を理解させる。 世界の気候や自然環境の理解を深め、そこに住む人々の生活について考察させる。	第1回		4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書			
	5月(11月)	第2節 気候と自然環境 第3節 気候と人々の生活 第4節 日本の自然環境と自然災害	世界の気候や自然環境の理解を深め、そこに住む人々の生活について考察させる。 日本の自然環境と自然災害、環境問題を学び、持続可能な社会のあり方について考察させる。	第2回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)							
	6月(11月)	第5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 第1節 産業の発展と社会的分業 第3節 食料問題	日本や世界の自然環境と自然災害、環境問題を学び、持続可能な社会のあり方について考察させる。 食糧問題についての問題やその原因を多角的に理解、考察させる。	第3回								
	6月(11月)	第4節 エネルギーと鉱産資源 第5節 資源・エネルギー問題 第6節 工業の立地と工業地域の変容	資源・エネルギー問題について化石燃料依存、再生エネルギーへの転換への取り組みなどを理解させる。 工場の立地についての課題を理解、考察させる。	第4回								
	6月(12月)	第3章 交通・通信・観光 第1節 交通・通信 第2節 貿易と経済連携 第3節 観光 第4章 人口、村落・都市 第1節 人口 第2節 人口問題 第3節 村落・都市 第4節 居住・都市問題	交通の発達によりもたらされるグローバル化について、貿易や観光の観点から多角的に理解を深める。 世界の人口分布と人口ピラミッドの累計について学習し、先進国、発展途上国それぞれの人口問題や都市の諸課題について認識を深めさせる。	第5回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)					スクーリング 5月～6月 (10月～11月)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	7月(12月)	第5章 生活文化、民族・宗教 第1節 生活文化の地域性 第2節 民族・言語・宗教 第3節 民族問題 第4節 現代の国家と領土問題	文化についての定義の理解をふまえ、世界の衣食住について文化的に理解する。民族について言語や国家の関係を理解し、世界の宗教の分布や形成過程を学び世界の文化的多様性について理解させる。また民族問題についてその背景と国家や宗教の関わりを考え、紛争や難民問題の解決に向けた取り組みと課題について考察させる。	第6回								
9月(1月)	単位認定試験				(於相生本校)		1	1	1			
				面接指導(単位時間) 合計			1					

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
地理歴史	日本史探究a	2	日探701	東京書籍	日本史探究

<p style="text-align: center;">目標 【学習指導要領】</p>	<p>社会的現象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
<p style="text-align: center;">目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の特色について、地図や年表などの歴史資料を活用し、日本の歴史に対する興味関心を高める。 ・文化に関する学習については、それを生み出した時代的背景や外国との交流にも着目し、日本の伝統と文化について理解を深める。
<p style="text-align: center;">評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、伝統と文化の特色、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察し、また、考察、構想したことを効果的に説明することができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養おうとしているか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開	縄文、弥生文化の特徴を理解する。また、古墳文化の特色と大和王権の成立について、中国や朝鮮半島との関係に着目しながら理解する。	第1回		4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	5月 (11月)	第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開 4 平城京と天平文化 2節 摂関政治と貴族文化	律令国家が形成されるまでの過程や、奈良・平安時代の政治、文化の特色及び院政のしくみ、平氏政権の成立について理解を深める。	第2回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)					
	5月 (11月)	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷	資料を基に、武家権力が社会をどのように変えたか、また、武家政権そのものがどのように変化したのかについて理解を深める。	第3回						
	6月 (11月)	第3章 中世社会の展開 2節 武家支配の広がり国際交流	室町幕府成立の過程を学び、東アジアの国々との交易の中で、文化の発達がみられたことを理解する。	第4回		スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	鎌倉幕府の仕組みと鎌倉新仏教及び江戸幕府成立までの過程と幕藩体制の意味について理解する。(講義)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 スクーリング プリント	
	6月 (12月)	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 1 江戸幕府と大名・朝廷	戦国時代の大名や社会の特徴及び大航海時代という背景のもと、日本にヨーロッパ文化が伝来したことを学ぶ。また、織豊政権による天下統一について理解を深める。	第5回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)					
	7月 (12月)	第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 2 近世の身分と人々の暮らし 3 アジアのなかの幕府体制 4 武断政治から文治政治へ 5 幕藩体制下の社会の発展	江戸幕府の組織と幕藩体制の特色、鎖国政策について理解を深めるとともに、17世紀以降の人々の生活の変化についての要因について理解を深める。	第6回						
	9月 (2月)	単位認定試験					(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計								1		

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
地理歴史	世界史探究b	2	世探701	東京書籍	世界史探究

目標 【学習指導要領】	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項との連続性に留意し、生徒の興味関心を掘り起こす指導を工夫する。 ・地理的条件とも関連付け、時間的・空間的な比較などを行う指導を工夫する。 ・年表や地図、その他の資料を積極的に活用し、関係諸機関などと円滑な連携協同を図り、社会とのかかわりを意識した指導を工夫する。
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みに関わる諸事象について理解するとともに、適切かつ効果的に調べよめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】世界の歴史的事象に多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想する力やそれらを効果的に説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】世界の歴史的事象に対し、主体的に探究しようとする態度を養う。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	第2編 諸地域の交流と再編 第12章 ユーラシア諸国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アジアと西アジアの繁栄、インドの大国について理解させる。 ・清と東アジアについて理解させる。 	第7回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月 (5月)	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・一体化していく世界、産業革命と工業化、アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立について理解させる。 	第8回					
	11月 (5月)	第3編 一体化していく世界 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	<ul style="list-style-type: none"> ・産業資本主義の世界への波及と欧米社会、西アジアの危機と改革の始まりなどについて理解させる。 	第9回					
	11月 (6月)	第3編 一体化していく世界 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編、大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパについて理解させる。 	第10回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	グローバル化と地球的課題(講義)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月 (6月)	第3編 一体化していく世界 第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・太平洋戦争と日本の敗戦、帝国の解体と分断国家の形成、アジア諸国の独立と脱植民地化、朝鮮戦争保東アジアの冷戦について理解させる。 	第11回					
	12月 (7月)	第4編 グローバル化と地球的課題 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容、そして世界の諸地域について理解させる 	第12回					
	1月 (9月)	単位認定試験				(於相生本校)			1
面接指導(単位時間) 合計								1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
公民	公共	2	公共 901	東京書籍	公共

目標 【学習指導要領】	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きたる国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	法律や経済のしくみ、国際的な問題などについての理解を深め、社会を構成する一員としての意識を育てる。 身近な例について様々な視点で考える経験を通して、日々移行行く社会の中でも物事を自分の問題として考えられる力と習慣を身に付けさせる。 単なる知識の暗記にとどまらないようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う姿勢がみられたか、また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きたる国民主権を担う公民としての自覚を育もうという学びへの意欲がみられたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月(10月)	第1部 「公共」とびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者と共に生きる人間としての在り方 第3章 公共的な空間における倫理 第4章 公共的な空間における基本的原理	自らのこと、社会のことを理解し、考えられるようになるための様々な視点を身に着ける。 青年期、自己形成、公共空間や先人たちの思想や宗教について理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月(11月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	民主主義やその課題、国会や内閣のしくみと役割について理解し、行政と住民のあり方について考える態度を身に着ける。	第2回					
	5月(11月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第2章 法の働きと私たち	法の働きや種類、社会規範について学び、自分たちの生活が法と密接にかかわっていることを理解する。 法による規制とそれ以外の問題解決策について考え、幅広い視点で問題を解決する力を養う。	第3回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	先哲の思想、市場経済のしくみ、市場の限界、選挙制度、有権者教育(講義)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月(11月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第3章 経済社会で生きる私たち	経済のしくみや日本経済の歴史を理解する。持続可能な社会保障制度について主体的に考え、判断するための思考力を身に着ける。	第4回					
	6月(12月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち	働くことについての考え方を養ったり、労働問題や労働に関する法律を理解したりして、未来の職業生活への意識づけを行う。 国際社会のしくみを学び、平和を守ろうとする意識を高める。	第5回					
	7月(12月)	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	国際平和や国際経済の課題について、自ら考える態度を養う。 持続可能な社会を作るために必要なことを考え続ける人になるという姿勢を身に着ける。	第6回					
	9月(1月)	単位認定試験					(於相生本校)		
							面接指導(単位時間) 合計	1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学 I a	2	数 I 905	東京書籍	新数学 I

目標 【学習指導要領】	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------------------------------	--

目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学 I」だけで、高等学校の履修を終える生徒に配慮する。 ・「数学 I」に続けて深く学ぶ生徒にはその後の科目との系統性を考慮する。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
---	--

評価の観点	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
--------------	---

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式	文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、整式、同類項、整式の次数、n次式など、式についての用語の意味を理解し、整式を整理するなかで、式についての見方を豊かにする。	第1回	スクーリング 5,6月 (10~11月)	文字を使った式	0.1	行動観察 課題プリント
					5月 (10月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

4月 (10月)	1章 数と式 1節 文字と式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2)	整式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて整式を展開することができる。	第1,2回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	多項式の計算(1)	0.1	行動観察 課題プリント
				5月 (10月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
5月 (11月)	1章 数と式 1節 文字と式 5 乗法公式	乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。また、式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって整式を展開することができる。	第2回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	乗法公式	0.1	行動観察 課題プリント
5月 (11月)	1章 数と式 1節 文字と式 6 因数分解(1) 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解のくふうと利用	分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。また、式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって因数分解することができる。	第2回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	因数分解(2)	0.1	行動観察 課題プリント
				5月 (10月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
5月 (11月)	1章 数と式 2節 実数 1 平方根 2 根号をふくむ式の計算	根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用する能力を伸ばす。	第3回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	平方根	0.1	行動観察 課題プリント
				5月 (10月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (12月)	1章 数と式 2節 実数 3 数の分類 4 分数と小数	自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。	第1,2,3回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	分数と小数	0.1	行動観察 課題プリント
				5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (12月)	1章 数と式 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質	1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。	第4回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	不等式	0.1	行動観察 課題プリント
				5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (12月)	1章 数と式 3節 方程式と不等式 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式	不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。 1次不等式を利用して、文章題を解決することができる。 2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解、解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。	第4回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	不等式の解 2次方程式とその解き方	0.1	行動観察 課題プリント
				6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

7月 (12月)	4章 データの分析 1節 データの分析 1 データにもとづいた問題解決の進め方	データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことができ、データを整理する有用性に気づく。 データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、中央値をもとにした四分位数、四分位範囲を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。	第5回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	代表値 分散と標準偏差	0.1	行動観察 課題プリント	
	2 データの特徴の調べ方 3 代表値 4 四分位数と箱ひげ図 5 分散と標準偏差 6 相関関係 7 相関係数 8 データにもとづく考え方	データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、平均値をもとにした分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 2つの変量の組の値を散布図に表すことによって、2つの変量の相関関係が調べられることを理解する。 散布図による相関関係を相関係数により数値化し、相関の強さが表せる有効性を認識する。		6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
7月 (12月)	5章 集合と論証 1節 集合と論証 1 集合	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。	第6回	スクーリング 5,6月 (10～11月)	命題と集合	0.1	行動観察 課題プリント	
	2 命題と集合 3 命題と証明	命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 命題の逆、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。		6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
9月 (1月)	単位認定試験						考査	
面接指導(単位時間) 合計							1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学 I b	2	数 I 905	東京書籍	新数学 I

目標 【学習指導要領】	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
------------------------------	--

目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学 I」だけで、高等学校の履修を終える生徒に配慮する。 ・「数学 I」に続けて深く学ぶ生徒にはその後の科目との系統性を考慮する。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
---	--

評価の観点	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
--------------	---

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
	10月 (4月)	1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式	文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、整式、同類項、整式の次数、 n 次式など、式についての用語の意味を理解し、整式を整理するなかで、式についての見方を豊かにする。	第7回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	文字を使った式	0.1	行動観察 課題プリント
					10月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月 (4月)	1章 数と式 1節 文字と式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2)	整式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて整式を展開することができる。	第8回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	多項式の計算(1)	0.1	行動観察 課題プリント

後期（前期）

				10月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
11月 (5月)	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式	2次関数のグラフと2次不等式の解の関係を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。	第9回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	2次関数のグラフと2次不等式	0.1	行動観察 課題プリント
				10月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
11月 (5月)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 1 三角形 2 タンジェント 3 サインとコサイン	相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 直接測ることができない長さなどを、相似な直角三角形の辺の比を使って求めることを通して、正接の意味を理解する。 正弦、余弦の意味を理解する。また、 30° 、 45° 、 60° の三角比の値を求めることができる。	第10回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	三角比 タンジェント サインとコサイン	0.2	行動観察 課題プリント
11月 (5月)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 4 三角比の利用 5 三角比の相互関係 6 $90^\circ - A$ の三角形	三角比の表の利用の仕方を学習し、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。 三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。また、 $90^\circ - A$ の三角比の値を求めることができる。	第9回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	三角比の相互関係	0.2	行動観察 課題プリント
				10月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
12月 (6月)	3章 三角比 2節 三角比の応用 1 三角形の面積 2 正弦定理 3 余弦定理	与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 三角形の角の正弦の値と対応する辺の長さとの関係、さらに外接円の半径との関係を調べて、正弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に正弦定理を有効に活用することができる。 三角形の角の余弦の値と辺の長さとの関係を調べて、余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に余弦定理を有効に活用することができる。	第10,11回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	余弦定理	0.2	行動観察 課題プリント
				11月 (6月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
12月 (6月)	3章 三角比 2節 三角比の応用 4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比の利用	座標を用いて三角比を考え、鈍角や 0° 、 90° 、 180° まで拡張した三角比の意味を理解する。 角が鈍角の場合も、三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、 $180^\circ - \theta$ の三角比の値を求めることができる。 角が鈍角の場合も、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理が成り立つことを確認する。また、空間図形において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用して、計量の問題を解決することができる。	第11,12回	スクーリング 10～12月 (5～6月)	鈍角の三角比	0	行動観察 課題プリント
				12月 (7月)	その他メディア学習により免除	0.1	レポート 視聴報告書
1月 (7月)	単位認定試験						考査

面接指導(単位時間) 合計 1

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学Ⅱa	2	数Ⅱ717	東京書籍	新数学Ⅱ

目標 【学習指導要領】	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学Ⅰ」の内容を発展、拡充させることができるようにする。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	1章 方程式・式と証明 1節 整式・分数式の計算 1 3次の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 分数式とその計算	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらの公式が利用できる。 パスカルの三角形を考察し、二項定理が利用できる。 整式の商にあたる分数式とその約分と通分、四則演算について理解する。	第1回		スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	3次の乗法公式と因数分解 分数式とその計算	0.2	行動観察 課題プリント
						4月 (10月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書

5月 (11月)	1章 方程式・式と証明 2節 2次方程式 1 複素数	虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。	第2回	中間締切 5/29 (10/29)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	解と係数の関係	0.1	行動観察 課題プリント
	2 2次方程式 3 解と係数の関係	2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。			5月 (11月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
5月 (11月)	1章 方程式・式と証明 3節 高次方程式 1 整式の除法	簡単な整式の除法について理解する。	第3回	最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	整式の除法	0.1	行動観察 課題プリント
	2 因数定理 3 高次方程式	剰余の定理や因数定理について理解し、これらを整式の除法や因数分解などに用いたり、活用したりすることができる。			5月 (11月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	4節 式と証明 1 等式の証明 2 不等式の証明	高次方程式の定義について理解し、因数分解による解法、および因数定理を利用した解法について理解する。 恒等式の意味を理解し、論証について簡単な等式の証明の手順を通して理解する。 不等式の性質を理解し、それを用いて証明することができる。また、代表的な不等式として、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係を理解する。			5月 (11月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (11月)	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 1 直線上の点の座標	座標を利用したの数直線上の2点間の距離、および内分、外分の意味を理解し、その計算をしたり、数直線上に内分点、外分点を表したりすることができる。	第4回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	直線の座標 直線の方程式	0.2	行動観察 課題プリント
	2 平面上の点の座標 3 直線の方程式 4 2直線の関係	座標平面上の約束、および平面上の2点について、距離、内分点、外分点の座標の求め方、内分の代表的な応用として三角形の重心の座標について理解する。 1点と傾き、あるいは2点が与えられたときの直線の方程式の求め方を理解し、それを用いることができる。 2直線の交点が方程式を連立して求められること、および、平行・垂直な直線の方程式がどのような関係式で与えられるかを理解し、それらを求めることができる。			6月 (11月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (11月)	2章 図形と方程式 2節 円の方程式 1 円の方程式	円の定義をもとに方程式を立てること、また、円の方程式の一般形から中心の座標と半径を求めることができる。	第5回	最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	円の方程式 円と直線 不等式の表す領域	0.2	行動観察 課題プリント
	2 円と直線 3節 不等式の表す領域 1 不等式の表す領域 2 連立不等式の表す領域	円と直線の位置関係が3通りあること、およびそれらが2式を連立させてできる2次方程式の判別式の符号で決まることを理解する。 直線や円によって区切られる領域は、不等式によって表され、その境界が方程式を満たす点であることを理解するとともに、平面上のすべての点が式で表されることを認識する。 集合の共通部分の考えを使って、連立不等式で表される領域を考察する。			6月 (11月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書

7月 (12月)	3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角	回転量としての角度の扱いに興味をもち、 360° 以上、および負の角度について理解する。 180° 以上、および負の角度に対する三角比を求めることができ、それらを関数としてとらえることができる。 任意の角度に対しても、相互関係が成り立つことを理解する。 三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。 基本公式を定義から導くことができる。そして、サイン、コサイン、タンジェントの関係についての理解を深める。	第6回	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	三角関数の相互関係	0.2	行動観察 課題プリント
	2 三角関数 3 三角関数の相互関係 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の性質			7,9月 (12,1月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
9月 (1月)	単位認定試験			(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計						1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学Ⅱb	2	数Ⅱ717	東京書籍	新数学Ⅱ

目標 【学習指導要領】	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学Ⅰ」の内容を発展、拡充させることができるようにする。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	10月 (4月)	3章 三角関数 2節 加法定理 1 加法定理	加法定理の意味とその使い方を理解し、加法定理の応用の広さを認識する。	第7回		スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	加法定理 弧度法	0.1	行動観察 課題プリント
		2 加法定理の応用	加法定理の簡単な応用として2倍角の公式と、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する			10月 (4月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
		3 弧度法	弧度法の意味を理解し、扇形の弧の長さや面積の表し方などについて理解する。						

11月 (5月)	4章 指数関数 1節 指数関数 1 指数の拡張 2 累乗根 3 指数関数とそのグラフ	指数を整数に拡張することに興味をもち、指数法則を用いた計算をすることができる。 分数を指数とする計算ができ、累乗根として表すことができることを理解する。 指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかくことができる。	第8回	中間締切 10/29 (5/29)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	指数の拡張 累乗根	0.1	行動観察 課題プリント
				最終締切 12/16 (7/17)	11月 (5月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書
11月 (5月)	4章 対数関数 2節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ 4 常用対数	対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。 指数法則に関連させながら対数の性質を理解する。 対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかくことができる。 常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを桁数計算へ応用できる。	第9回	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	対数 対数の性質	0.1	行動観察 課題プリント	
				11月 (5月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
12月 (6月)	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 接線	平均変化率を物理的な例から導入し、グラフ上の2点を通る直線の傾きと対応していることに気づく。 極限值の定義を知り、平均変化率の極限を考えることを通して、微分係数の意味を理解し、それを求めることができる。 任意の点の微分係数を与える関数としての導関数の意味を理解し、簡単な導関数の計算ができる。 グラフの接線の傾きと対比して、微分係数の具体的な意味を理解する。さらに、与えられた曲線の方程式から接線の方程式を求めることができる。	第10回	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	微分 接線	0.2	行動観察 課題プリント	
				12月 (6月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
12月 (6月)	5章 微分と積分 2節 導関数の応用 1 関数の増加・減少 2 関数の極大・極小 3 関数の最大・最小	導関数の符号を利用して、関数の増減を理解する。 増加・減少の境目としての関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかくことができる 与えられた条件の範囲で関数のグラフを考察することによって、最大・最小の問題を簡単に解くことができることを理解するとともに、関数の最大・最小を考察することの有用性と微分の重要性を納得する。	第11回	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	関数の極大・ 極小	0.2	行動観察 課題プリント	
				12月 (6月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
1月 (6,7月)	5章 微分と積分 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 面積	微分の逆演算としての不定積分を理解し、公式をもとに不定積分の計算をすることができる。 定積分の公式について理解し、簡単な定積分の計算をすることができる。 定積分の公式について理解し、簡単な定積分の計算をすることができる。	第12回	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	定積分 面積	0.3	行動観察 課題プリント	
				1月 (6,7月)	その他メディア 学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
1月 (9月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計							1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学Ⅲa	2	数Ⅲ702	東京書籍	数学Ⅲ Standard

目標 【学習指導要領】	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・「数学Ⅱ」の内容を発展、拡充させることができるようにする。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 ・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。 ・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	1章 関数と極限 1節 関数 1 分数関数とそのグラフ	分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができる。また、分数関数のグラフの特徴を理解する。	第1回		スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	分数関数とそのグラフ	0.2	行動観察 課題プリント
		2 無理関数とそのグラフ 3 逆関数と合成関数	無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができる。また、無理関数のグラフの特徴を理解する。 逆関数の意味を理解し、関数の逆関数を求めることや、関数のグラフからその逆関数のグラフをかくことができる。また、合成関数の意味を理解し、2つの関数の合成関数を求めることができる。			4月 (10月)	その他メディア学習により免除		

前期（後期）

5月 (11月)	1章 関数と極限 2節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数	数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。 無限等比数列が収束する条件を理解し、そのことを用いて数列の極限を調べることができる。 無限級数について理解し、その収束、発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたりすることや、無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができる。また、図形への応用や循環小数の考察を通して、その理解を深める。	第2回	中間締切 5/29 (10/29)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	数列の極限	0.1	行動観察 課題プリント
				最終締切 7/17 (12/16)	5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
				5月 (11月)	関数と極限	0.1	行動観察 課題プリント	
	5月 (11月)	1章 関数と極限 3節 関数の極限 1 いろいろな関数と極限 2 関数の連続性	指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べることができる。 関数の連続性及び中間値の定理について理解し、ある区間における実数解の存在を証明することができる。	第3回	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	関数と極限	0.1	行動観察 課題プリント
					5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	6月 (11月)	2章 微分 1節 微分法 1 導関数 2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法	導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができる。また、導関数の基本的な性質を理解する。 積・商の導関数について理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。 合成関数の微分法及び逆関数の微分法について理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。また、 r が有理数のときも。	第4回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	積・商の微分法	0.2
6月 (11月)					その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	

6月 (12月)	2章 微分 2節 いろいろな関数の導関数 1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数	三角関数の導関数について理解し、合成関数の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 自然対数の底eを導入し、対数関数の導関数を理解する。また、対数微分法を理解し、それを用いて、指数関数の導関数を求めることができる。	第5回	最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	三角関数・対数関数・指数関数の導関数	0.2	行動観察 課題プリント
					6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
7月 (12月)	3章 微分の応用 1節 関数の増減 1 接線の方程式	曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。また、媒介変数で表された関数の微分について理解し、導関数を媒介変数で表したり、媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。	第6回		スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	接線の方程式	0.2	行動観察 課題プリント
					7,9月 (12,1月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計							1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学Ⅲb	2	数Ⅲ702	東京書籍	数学Ⅲ Standard

目標 【学習指導要領】	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】	・「数学Ⅱ」の内容を発展、拡充させることができるようにする。 ・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 ・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。 ・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	10月 (4月)	3章 微分の応用 1節 関数の増減 2 関数の増減 3 第2次導関数とグラフ	平均値の定理について理解し、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明することができる。また、関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができる。 曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、これまでに学習したことを用いている関数のグラフの概形をかくことができる。	第7回	中間締切 10/29 (5/29)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	関数の増減	0.1	行動観察 課題プリント
10月 (4月)						その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	

前期 (後期)	11月 (5月)	3章 微分の応用 1節 関数の増減 3 第2次導関数とグラフ	曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、これまでに学習したことを用いている関数のグラフの概形をかきことができる。	第8回	最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	最大・最小	0.1	行動観察 課題プリント	
		2節 微分のいろいろな応用 1 最大・最小	微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができる。			11月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	11月 (5月)	3章 微分の応用 2節 微分のいろいろな応用 2 方程式・不等式への応用	微分法や平均値の定理を用いて、不等式を証明することができる。また、方程式の実数解の個数を調べることができる。	第9回	最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	方程式・不等式への応用	0.1	行動観察 課題プリント	
		3 速度・加速度	運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解する。			11月 (5月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	12月 (6月)	4章 積分とその応用 1節 不定積分 1 不定積分	不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。	第10回	最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	不定積分	0.2	行動観察 課題プリント	
						12月 (6月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	12月 (6月)	4章 積分とその応用 1節 不定積分 2 置換積分法	置換積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。	第11回	最終締切 12/16 (7/17)	中間締切 12/9 (7/10)	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	定積分	0.2	行動観察 課題プリント
		3 部分積分法	部分積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。							
		2節 定積分 1 定積分	いろいろな関数の定積分の値を求めることができる。							
		3 定積分で表された関数	置換積分法や部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。また、偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し、定積分の値を求めることができる。			12月 (6月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	

1月 (6,7月)	4章 積分とその応用 2節 定積分 2 定積分の置換積分法と部分積分法	置換積分法や部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。また、偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し、定積分の値を求めることができる。	第12回	スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	面積	0.3	行動観察 課題プリント
	3節 面積・体積・長さ 1 面積	いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。また、その値を求めることができる。		1月 (6,7月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
1月 (9月)	単位認定試験			(於相生本校)			考査
				面接指導(単位時間) 合計		1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学A	2	数A905,906	東京書籍	「改訂版 新数学A」, 「改訂版 新数学A 解答編」
<p>目標 【学習指導要領】</p>		<p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>			
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>		<p>次のような数学的活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象を数理的に捉えて、数学的に表現する。 ・数学的な事象に問いを立てて解決し、その過程を考察する。 ・結果に至る自らの考えを、相手に伝わるように数学的に説明する。 			
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>		<p>【知識・技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の性質を見だして考察したり、確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学と人間の活動との関わりを認識し、数学的論拠に基づき解決までの過程を説明できたか。</p>			

次ページに続く→

学期	実施時期	内容 (教科書の単元)	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導			評価方法 (5段階評定)	
				回数	締切日	時期	内容	時間		
10月 (4月)	1章 場合の数と確率	1節 場合の数	場合の数を学びます。 下記に示す概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	第1回	中間締切① 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	10-12月 (4-7月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書	
		1 集合	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合、図や記号							
		2 集合の要素の個数	補集合、和集合、要素の個数							
		3 個数の数え方	樹形図、表							
		4 和の法則と積の法則	数え上げの原則、場合の数の和の法則、場合の数の積の法則							
		5 順列	並べ方と順列、その総数							
		6 順列の利用	条件のついた順列P、その総数							
		7 いろいろな順列	重複順列、円順列、その総数							
		8 組合せ	選び方と組合せC、その総数							
9 組合せの利用	組合せの利用、その総数									
10月 (5月)	2節 確率	1 事象と確率	1回の試行の確率を学びます。 下記に示す基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	第2回	中間締切① 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10-11月 (5-6月)	1回の試行の 確率 (講義)	0.2	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		2 確率の計算	場合の数を利用した確率計算、組合せCの利用、場合の数の積の法則の応用							
		3 排反事象の確率	2つの事象が同時に起こらない(排反事象)の確率計算、 $A \cap B = \emptyset$ の場合の $P(A \cup B)$ 、和集合と和の法則と和事象、確率の加法定理							
		4 余事象の確率	あることが起こらない余事象の確率計算 $P(\bar{A})$ 、その利用、補集合と余事象							
11月 (5月)	2節 確率	5 独立な試行の確率	2つの試行または何回も繰り返す同じ試行の確率を学びます。 下記に示す基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	第3回	中間締切① 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10-11月 (5-6月)	複数回の試 行の確率 (講義)	0.2	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		6 反復試行の確率	独立な試行を何回も繰り返して行う反復試行、簡単な場合の反復試行の確率計算、組合せCの利用							
		7 条件つき確率	独立でない試行の条件つき確率、その計算、積事象と確率の乗法定理、 $P_A(B) \neq P(B)$ の場合の $P(A \cap B)$							
		8 期待値	期待値、その計算と活用、算術平均との違い							
後期 (前期)	2章 図形の性質	1節 平面図形の基礎	図形の性質について学び、角の大きさや辺の長さを求めます。 下記に示す基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	第4回	中間締切② 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	10-12月 (4-7月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書	
		1 直線と角	平行線と角の関係							
		2 多角形の角	多角形の内角、外角の性質							
		3 三角形の合同と相似	三角形の合同条件、相似条件							
		4 基本の作図	垂直二等分線、垂線、角の二等分線、その作図							
		5 作図の利用	図形の性質を利用した平行線、いろいろな大きさの角、その作図							
		2節 三角形の性質	図形の構成要素間の関係などに着目し、下記に示す図形の性質を見いだして線分の長さや角の大きさを求めます。 論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。							
		1 三角形と比	三角形と比の性質、中点連結定理							
		2 三角形の重心	三角形の重心の性質							
		3 三角形の外心・内心	三角形の外心、内心							
		4 角の二等分線と線分の比	三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理							
		12月 (6月)	3節 円の性質							1 円の接線
2 円周角の定理	円周角の定理、円周角の定理の逆、4点が同一円周上にある条件									
3 円に内接する四角形	円に内接する四角形、四角形が円に内接する条件									
4 接線と弦のつくる角	接線と弦のつくる角の定理									
5 方べきの定理	円と2本の直線がつくる線分の長さの関係、方べきの定理									
6 2つの円	2つの円の位置関係									
12月 (7月)	4節 空間図形	1 直線や平面の位置関係	図形の構成要素間の関係などに着目し、下記に示す図形の性質を見いだして線分の長さや角の大きさを求めます。 論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	第6回	最終締切 12/16 (7/17)	10-12月	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書	
		2 多面体	多面体、正多面体、オイラーの多面体定理、空間図形に対する見方							
12月 (7月)	3章 数学と人間の活動	1節 数や位置を表す	下記に示す表現方法を学びます。 数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	第6回	中間締切② 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10-11月 (5-6月)	2進法 (講義)	0.1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		3 2進法	2進法と10進法の変換、2進法と10進法の比較、2進法で表された数の計算							
		2節 数のつくり方を調べる								
		1 約数と倍数	約数、倍数、素数、素因数分解、整数に関する基本的概念							
		2 最大公約数と最小公倍数	素因数分解を利用した最大公約数・最小公倍数の求め方							
		3 ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法を利用した2つの正の整数の最大公約数							
		3節 はかる								
		1 測る	長さや面積の単位、図形の性質や三角比を用いた測量の方法							
		3 計る	古代の人々の時計、暦(うるう年)							
		4節 数学で遊ぶ								
		1 数で遊ぶ(魔方陣)	魔方陣							
		5 和算で遊ぶ(塵劫記)	江戸時代の和算書「塵劫記」、数学と人間の活動との関わり							
1月 (9月)		単位認定試験		-	-	相生本校にて		-	考査	
						面接指導(単位時間) 合計			1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学B	2	数B702	東京書籍	数学B Standard

目標 【学習指導要領】	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 ・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	4月 (10月)	1章 数列 1節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。 等差数列について関心を深め、一般項 a_n を初項 a 、公差 d を使って表せることを理解する。 等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち、それが n を用いて表せることを理解する。 等比数列について関心を深め、一般項 a_n を初項 a 、公比 r を使って表せることを理解する。 等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち、それが n を用いて表せることを理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	スクーリング 5~6月 (10~11月) (於相生本校)	数列	0.2	行動観察 課題プリント
						4月 (10月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

前期（後期）

5月 (11月)	1章 数列 2節 いろいろな数列 1 数列の和と記号Σ	記号Σの意味と性質を理解し、自然数の累乗の和をΣを用いて表すことができる。 階差数列や数列の和から一般項を求めたり、群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	いろいろな数列	0.2	行動観察 課題プリント
	2 いろいろな数列				5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
5月 (11月)	1章 数列 3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式	数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱うことができる。 数学的帰納法について理解し、等式などの証明に利用できる。	第3回	最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	漸化式	0.2	行動観察 課題プリント
	2 数学的帰納法				5月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (11月)	2章 統計的な推測 2節 確率分布 1 確率分布	確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。また、確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数Xの平均(期待値)や分散、標準偏差を求めることができる。 確率変数 $aX+b$ の平均や分散、標準偏差について理解し、それらを求めることができる。	第4回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	確率分布	0.2	行動観察 課題プリント
	2 確率変数の平均と分散の性質				6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
6月 (11月)	2章 統計的な推測 2節 確率分布 3 確率変数の和と積	確率変数の和の平均や独立な確率変数の積の平均、和の分散について理解し、それらを求めることができる。 二項分布の意味を理解する。また、二項分布の確率や平均、分散及び標準偏差を求めることができる。	第5回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5～6月 (10～11月) (於相生本校)	確率の変数 二項分布	0.2	行動観察 課題プリント
	2 二項分布				6月 (11月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
7月 (12月)	3章 数学と社会生活 1節 数学的モデル化 1 数学的モデルを用いた予測	事象の特徴を捉え、数学的に表現した数学的モデルの考え方について理解する。また、ポップコーンを買うまでの待ち時間を、ある仮定に基づく数学的モデルを用いて考察したり、予測の度合いを高めるために数学的モデルを修正したりすることができる。 日常生活や社会生活などの様々な問題場面に潜む変量間の関係を見いだす関数モデルについて理解する。また、ジュースの販売数と日ごとの最高気温を変量として関数モデルを考え、回帰直線を求めて販売数を予測したり、予測の度合いを高めるために仮定や関数モデルを見直したりすることができる。	第6回	最終締切 7/17 (12/16)				
	2節 関数モデル 1 関数モデルを後いた予測				7,9月 (12,1月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考查

面接指導(単位時間) 合計 1

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
数学	数学C	2	数C702	東京書籍	数学C Standard

目標 【学習指導要領】	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・単なる知識の暗記ではなく、数学的な見方や考え方を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 ・ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
	10月 (4月)	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。また、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや、条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。さらに、ベクトルの演算や平行・分解などについての理解を深める。 2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。	第1回		スクーリング 10～11月 (5～6月) (於相生本校)	ベクトルの成分	0.1	行動観察 課題プリント
						10月 (4月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書

11月 (5月)	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 4 ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル 3節 空間におけるベクトル 1 空間ベクトル	2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。 平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。	第2回	中間締切 10/29 (5/29)	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	ベクトルの内積 位置ベクトル	0.1	行動観察 課題プリント
	最終締切 12/16 (7/17)	11月 (5月)		その他メディア学習により 免除	0	レポート 視聴報告書		
11月 (5月)	1章 ベクトル 3節 空間におけるベクトル 2 空間座標と空間のベクトル 3 空間のベクトルの内積	空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方を平面の場合から類推して統合的・発展的に考察することができる。 平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また、そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。	第3回	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	空間におけるベクトル	0.1	行動観察 課題プリント	
	最終締切 12/16 (7/17)	11月 (5月)		その他メディア学習により 免除	0	レポート 視聴報告書		
12月 (6月)	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1 放物線、楕円、双曲線 2 2次曲線と平行移動	放物線、楕円、双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方をを用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。 2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方をを用いて考察することができる。また、平行移動したときの2次曲線の方程式の変化について理解する。	第4回	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	放物線、楕円、双曲線	0.2	行動観察 課題プリント	
	最終締切 12/16 (7/17)	12月 (6月)		その他メディア学習により 免除	0	レポート 視聴報告書		
12月 (6月)	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線 3 2次曲線と直線 2節 媒介変数表示と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と曲方程式	2次曲線と直線の共有点について、2次方程式の実数解の考え方をを用いて考察することができる。また、2次方程式の判別式を用いて、2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり、2次曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。 曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。 直交座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また、直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。	第5回	中間締切 12/9 (7/10)	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	曲線の媒介変数表示	0.2	行動観察 課題プリント
	最終締切 12/16 (7/17)	12月 (6月)		その他メディア学習により 免除	0	レポート 視聴報告書		

1月 (6,7月)	3章 複素数平面 1節 複素数平面 1 複素数平面	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。	第6回			スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	複素数平面	0.3	行動観察 課題プリント
	2 複素数の極形式	複素数の極形式を理解し、 $a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。				1月 (6,7月)	その他メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	3 ド・モアブルの定理	ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n = \alpha$ の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。				(於相生本校)			考査
1月 (9月)	単位認定試験								

面接指導(単位時間) 合計 1

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	科学と人間生活	2	科人705	第一学習社	高等学校 科学と人間生活

目標 【学習指導要領】	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・日常生活に関わりのある科学技術を積極的に紹介することで科学に対する興味関心を高め、主体的な学習態度を育成する。 ・実例動画の視聴や実験により、単なる知識の暗記ではなく、科学的な見方や考え方、探究心を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わり、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能について、レポート各回の学習内容・成果、単位認定試験の成果にもとづき評価する。 【思考・判断・表現】 人間生活と関連付けて科学的に探究する上での思考力・判断力・表現力を、レポート各回の学習内容・成果、単位認定試験の成果にもとづき評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象及び科学技術と人間生活との関わりについて、積極的・科学的に探究しようとする態度を、レポート各回の学習内容・成果、面接指導時の学習取り組み・成果、放送視聴状況にもとづき評価する。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期(前期)	10月(4月)	序章 科学技術の発展	情報伝達技術・エネルギー資源活用・交通手段・医療技術などの科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。	第1回	中間締切 10/29 (5/29)	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	エネルギー資源活用および交通手段の発展についての講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	10月(5月)	第I章 物質の科学 第2節 衣料と食品	身近な繊維の分類とその製法、食品中の主要栄養素について理解を深める。	第2回		最終締切 12/16 (7/17)	10月(5月)	メディア学習により免除	0
	10月(5月)	第II章 生命の科学 第2節 微生物とその利用	微生物の働きを、食品や医療など人間生活と関連付けて幅広く理解する。	第3回	10月(5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	10月(5月)	第II章 生命の科学 第2節 微生物とその利用	微生物の働きを、食品や医療など人間生活と関連付けて幅広く理解する。	第3回	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	食品への発酵の応用例についての観察、実験、講義	1	行動観察 課題プリント	
	11月(6月)	第III章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用	熱の性質、エネルギーの変換や有効利用について、日常生活に関連付けて理解を深める。	第4回	11月(6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	11月(6月)	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害	地震活動や火山活動を、身近な自然景観の成り立ちと自然災害に関連付けて、理解を深める。	第5回	中間締切 12/9 (7/10)	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	熱運動、熱伝導、エネルギー変換についての観察、実験、講義	1	行動観察 課題プリント
	11月(6月)	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害	地震活動や火山活動を、身近な自然景観の成り立ちと自然災害に関連付けて、理解を深める。	第5回	最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10~11月 (5~6月) (於相生本校)	地震活動や火山活動による地表の変化についての講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月(7月)	第V章 これからの科学と人間生活	課題の設定と研究・発表の進め方について理解を深め、これからの科学と、人間生活との関わり方について認識を深める。	第6回	12月(7月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	1~2月(9月)	単位認定試験					(於相生本校)		0
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	物理基礎	2	物基902	東京書籍	改訂 新編物理基礎

目標 【学習指導要領】	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・日常生活の中で、特に物理学に関わりのある科学技術を積極的に紹介することで物理に対する興味関心を高め、主体的な学習態度を育成する。 ・動画の観察や実験、実習を通して、物理的な知識・理解にとどまらず、科学的なものの見方や考え方、探究心を育成する。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 物理的な事象・現象の概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、観察、実験、実習では、基本操作、記録、整理ができ、科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物理的な事象・現象に見直しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験、実習などを行い、結果を分析して解釈し、根拠を基に考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事象・現象に主体的にかかわり、科学的に探究し、科学的な考え方を日常生活や社会に生かそうとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期	10月	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について基礎的事項を理解する。	第1回	中間締切 10/29 最終締切 12/16	10月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング 10～11月 (於相生本校)	等加速度直線運動についての観察、実験、実習、講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	10月	1編 物体の運動とエネルギー 2章 力と運動の法則	さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、摩擦力について基礎的事項を理解する。	第2回		10月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月	1編 物体の運動とエネルギー 3章 力学的エネルギー	力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解する。	第3回		スクーリング 10～11月 (於相生本校)	力学的エネルギーについての観察、実験、実習、講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	11月	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	熱と温度、熱の利用について日常生活と関連性を持たせて理解する。	第4回		スクーリング 10～11月 (於相生本校)	熱運動、熱と仕事についての観察、実験、講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	11月	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 2章 波	波の性質、音と振動について日常生活と関連性を持たせて理解する。	第5回	中間締切 12/9 最終締切 12/16	11月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気 4章 エネルギーとその利用 終章 物理学が拓く世界	物質と電気抵抗、電気の利用、さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について理解する。	第6回		12月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	1～2月	単位認定試験				(於相生本校)			考查
						面接指導(単位時間) 合計			4

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	化学基礎	2	化基712	第一学習社	高等学校 新化学基礎

目標 【学習指導要領】	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・化学と日常生活や社会との関連に気づき、興味を持ち学習できるようにする。 ・レポートや視聴教材を使い、基礎知識を身につけさせる。 ・化学で扱う実験や計算を論理的に考えられるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 化学の概念・原理や基本法則を具体的な性質や反応と結びつけて理解し、活用できるか。 【思考・判断・表現】 データの分析解釈などの探究の方法を習得でき、科学的に探究できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	10月	序章 化学と人間生活 第I章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素	化学と人間生活とのかかわりについて関心を高め、身の回りのものとの関連させ物質を探究する方法、基礎知識を身に付けさせる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	10月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング (10~12月)	元素と元素記号 物質の分離	0.5	行動観察 課題プリント
	10月	第I章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素	原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解させる。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)	10月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング (10~12月)	元素の確認 原子の表記	0.5	行動観察 課題プリント
	11月	第I章 物質の構成 第2節 化学結合 第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	原子の構造及び化学結合の関係を理解させる。 物質の性質について観察などを通して探究し、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について徹視的な見方ができるようにする。	第3回		11月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング (10~12月)	イオンの名称とイオン式 イオン化エネルギー	0.5	行動観察 課題プリント
	11月	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	物質の性質について観察、実験などを通して探究し、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について徹視的な見方ができるようにする。	第4回	中間締切 7/10 (12/9)	11月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング (10~12月)	分子量・式量 指数の計算 物質量の計算	1	行動観察 課題プリント
	12月	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	物質の性質について探究し、化学結合の関係を理解し、物質について徹視的な見方ができるようにする。 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	第5回	最終締切 7/17 (12/16)	12月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング (10~12月)	酸・塩基の価数 電離について	0.5	行動観察 課題プリント
1月	第II章 物質の変化 第2節 酸・塩基とその反応 第3節 酸化還元反応	酸化と還元が電子の授受によることを理解し、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。	第6回		1月	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
					スクーリング (10~12月)	水の電離と水素イオン濃度	1	行動観察 課題プリント	
1月	単位認定試験				(於相生本校)			0	考查
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	化学a(化学)	2	化学701	東京書籍	化学 理論編
目標 【学習指導要領】		化学的な事象・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てると共に、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】		化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技術を身につけるようにする。			
評価の観点 点別評価		【知識・技能】化学的な事象・現象の概念や原理・法則を理解し、知識を身につけ、観察・実験では基本操作・記録・整理ができ、化学的に探究する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】化学的な事象・現象に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察・実験などを行い、結果を分析して解釈し、根拠を基に考えを表現している。 【考え方を日常生活に生かそうとしている。主体的に学習に取り組む態度】化学的な事象・現象に主体的にかかわり、化学的に探究し、化学的な			

学期	実施時期	内容	目標達成	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階別評価)
				回	締切	時期	内容	時間	
前期 後期	4月	第1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	物質の三態に於けるそれぞれの特徴、気体の状態方程式について理解する。	第1回	4月	0	メディア学習により免除	レポート 視聴報告書	
	5月	第1編 物質の状態 3章 溶液の性質 4章 個体の構造	物質の溶液における状態と化学反応後の結晶の種類・性質・構造について理解する。	第2回					中間締切 5/29
	5月	第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	物質の化学反応に於けるヘスの法則等について理解する。	第3回					最終締切 7/17
	6月	第2編 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	化学反応を利用し、電気エネルギーを利用する電池などの仕組みについて、理解する。	第4回	中間締切 7/10	スクーリング 5月～6月 (於:相生本校)	状態変化 結晶の構造 可逆反応と 化学平衡	4 レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	6月	第3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さと平衡	反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。	第5回					
	7月	第3編 化学反応の速さと平衡 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡	可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動を理解する。水のイオン積pH及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。	第6回					最終締切 7/17
9月	単位認定試験				(於相生本校)			4 考査	
							面接指導(単位時間)合計	4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	化学b(化学)	2	化学702	東京書籍	化学 物質編
目標 【学習指導要領】		化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験等を行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】		化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的に探究するために必要な観察・実験等に関する技能を身につけるようにする。			
評価の観点 点別評価)		【知識・技能】化学的な事物・現象の概念や原理・法則を理解し、知識を身につけ、観察・実験では基本操作・記録・整理ができ、化学的に探究する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】化学的な事物・現象に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察・実験などを行い、結果を分析して解釈し、根拠を基に考えを表現している。 【考え方を日常生活に生かそうとしている。主体的に学習に取り組む態度】 化学的な事物・現象に主体的にかかわり、化学的に探究し、化学的な			

学期	実施時期	内容	目標達成	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階別評価)		
				回	締切	時期	内容	時間			
前期 ・ 後期	10月	第4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物	物質の性質が性質や反応を、元素の周期表に基づいて整理出来る事を理解し、それらを日常生活で使っているものと関連付けて性質を理解する。	第7回	中間締切 10/29 最終締切 12/16	10月	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書		
	10月	第4編 無機物質 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型元素の単体と化合物	非金属・典型元素の性質と化合物の特徴を理解する。	第8回							
	10月	第4編 無機物質 3章 アルコールと関連化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの単体と化合物	遷移元素・金属イオンの性質と特徴を理解する。	第9回							
	前期 ・ 後期	11月	第5章 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と化合物 2章 炭化水素	有機物の基本的な構造を理解し、その代表的なものの性質、反応を理解する。	第10回	中間締切 12/9 最終締切 12/16	スクーリング 10月～11月 (於:相生本校)	状態変化 結晶の構造 可逆反応と 化学平衡 水の電離平衡と pH	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
		11月	第5章 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 有機化合物の特徴と化合物	有機物の基本的な構造を理解し、その代表的なものの性質、反応を理解する。	第11回						
		12月	第6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 第7章 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	合成高分子化合物の性質及び合成について理解する。高分子化合物が人間生活の中で利用されていることを理解する。	第12回						
	1月	単位認定試験				(於相生本校)				考查	
									面接指導(単位時間)合計	4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	生物a(生物)	2	生物701	東京書籍	生物

目標 【学習指導要領】	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	観察や実験などを通して、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要かつ基本的な技能を身に着けるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】: 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】: 自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠に基づき出した考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】: 自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1編生物の進化 1章生命の起源と細胞の進化 2章遺伝子の変化と進化のしくみ 1節	生物の共通性と多様性、生命の誕生について理解する。地球における酸素濃度の上昇や真核生物の誕生、突然変異について理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習により免除	3	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	2章遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節	染色体と遺伝子座、遺伝の法則について理解する。減数分裂について理解し、活用することができる。進化の定義について理解し、遺伝子レベルでみる進化について理解する。遺伝子プールと遺伝子頻度について具体的な場面も含めて理解している。	第2回					
	5月 (11月)	3章生物の系統と進化	染色体と遺伝子座、遺伝の法則について理解する。減数分裂について理解し、活用することができる。進化の定義について理解し、遺伝子レベルでみる進化について理解する。遺伝子プールと遺伝子頻度について具体的な場面も含めて理解している。	第3回					
	6月 (11月)	2編生命現象と物質 1章細胞と物質	細胞を構成する成分・構造・はたらきについて理解する。タンパク質の構造について具体的な場面も含めて理解する。酵素としてはたらくタンパク質について具体的な場面も含めて理解する。生命現象とタンパク質について理解し、活用することができる。	第4回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	6月 (12月)	2章代謝とエネルギー	代謝とエネルギーについて理解する。呼吸について具体的な場面も含めて理解する。発酵について具体的な場面も含めて理解する。光合成について理解し、活用することができる。	第5回					
	7月 (12月)	3編遺伝情報の発現と発生 1章遺伝情報とその発現	代謝とエネルギーについて理解する。呼吸について具体的な場面も含めて理解する。発酵について具体的な場面も含めて理解する。光合成について理解し、活用することができる。	第6回					

7月 (12月)	視聴報告書			中間締切 7/10 (12/9)		メディア学習	
9月 (1月)	単位認定試験			最終締切 7/7 (12/16)	(於相生本校)		考查
						面接指導(単位時間) 合計	4

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	生物b	2	生物701	東京書籍	生物

目標 【学習指導要領】	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	観察や実験を通して生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要かつ基本的な技能を身に着けるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】:自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】:自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】:自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評価)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期(後期)	10月(4月)	3編遺伝情報の発現と発生 2章発生と遺伝子発現	原核生物・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 動物の発生について具体的な場面も含めて理解する。 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現・発現の調節について具体的な場面も含めて理解する。 動物の形と調節遺伝子の発現について理解し、活用することができる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月(10月)	メディア学習により免除	3	レポート 視聴報告書	
	11月(5月)	3章遺伝子を扱う技術	遺伝子を増幅・塩基配列を解読技術について具体的な場面も含めて理解する。 遺伝子組換え技術の利用・技術課題について具体的な場面も含めて理解する。	第2回						
	11月(5月)	4編生物の環境応答 1章動物の刺激の受容と反応 2章動物の行動	刺激の受容から反応への流れ・ニューロンの興奮について理解する。 刺激の受容と感覚について具体的な場面も含めて理解する。中枢神経系での情報処理について具体的な場面も含めて理解する。効果器について具体的な場面も含めて理解する。動物の行動について理解し、活用することができる。	第3回						
	11月(6月)	3章植物の環境応答	植物ホルモンと光受容体・環境要因による発芽の調節について具体的な場面も含めて理解する。茎や根の成長と環境要因の影響について具体的な場面も含めて理解する。花芽形成と環境要因の影響・果実の形成と成熟のしくみについて理解する。器官の老化と脱落のしくみについて理解し、活用する。	第4回	中間締切 7/10 (12/16) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)		1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	12月(6月)	5編生態と環境 1章個体群と生物群集	個体群と環境・構造と成長について具体的な場面も含めて理解する。個体間・種間の相互作用について具体的な場面も含めて理解する。生態系がみた生物について理解し、活用することができる。生物群集の成り立ちと多種の共存について理解し、活用することができる。	第5回						
	12月(7月)	2章生態系の物質生産と物質循環 3章生態系と人間生活	食物網と物質生産について生態系の物質収支と生態ピラミッドについて具体的な場面も含めて理解する。生物多様性・人間社会の変化と生態系について具体的な場面も含めて理解する。生態系の復元について理解し、活用することができる。	第6回						
	12月(7月)	視聴報告書				中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)		メディア学習		
	1月(9月)	単位認定試験					(於相生本校)			考查

面接指導(単位時間) 合計 4

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
保健体育	体育b	2	保体701	大修館	現代高等保健体育
目標 【学習指導要領】		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】		単元などの内容や時間のまわりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。その際、体育の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図る。また、運動の楽しさや喜びを深く味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意する。			
評価の観点 (観点別評価)		【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保したか。			

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1単元 スポーツの発祥と変遷 05スポーツの高潔さとドーピング	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 	第3回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (10月)	1単元 スポーツの発祥と発展 特設⑥スポーツの価値について考えてみよう							
	5月 (10月)	1単元 スポーツの発祥と発展 特設⑦なぜドーピングは許されないのか							
	5月 (10月)	1単元 スポーツの発祥と変遷 06スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのかを説明できる。 			スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	1. スポーツにおけるドーピングについての講義 2. 練習とトレーニングの基本原則についての講義	4	
	6月 (11月)	1単元 スポーツの発祥と変遷 特設⑧スポーツとまちづくり							
	6月 (11月)	2単元 運動・スポーツの学び方 01スポーツにおける技能と体力	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。 						
	6月 (11月)	2単元 運動・スポーツの学び方 02スポーツにおける技術と戦術							
	6月 (11月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設①スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう				<ul style="list-style-type: none"> ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。 	4. 体育実技指導(バドミントン・卓球・ビーチボール・グラウンドゴルフ等)		
	7月 (12月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設②スポーツとメディアの関係性							
9月 (1月)	単位認定試験					(於相生本校)		考查	
面接指導(単位時間) 合計						4			

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
保健体育	体育c	2	保体701	大修館	現代高等保健体育

目標 【学習指導要領】	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	単元などの内容や時間のまわりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。その際、体育の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図る。また、運動の楽しさや喜びを深く味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意する。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保したか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)			
				回	締切日	時期	内容	時間				
後期 (前期)	10月 (4月)	2単元 運動・スポーツの学び方 03技能の上達過程と練習	・技能がどのようなステップを経て上達するかを説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。	第5回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	10月 (4月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書			
	10月 (5月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設③球技における戦術の特徴を比較してみよう										
	10月 (5月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設④ゲームにおける戦術的判断										
	10月 (5月)	2単元 運動・スポーツの学び方 04効果的な動きのメカニズム										
	11月 (6月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設⑤運動・スポーツと脳										
	11月 (6月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設⑥動きと力	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのかを説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	1. 体育実技指導(バドミントン・卓球・ビーチボール・グランドゴルフ等) 2. 体育実技指導(バドミントン・卓球・ビーチボール・グランドゴルフ等) 3. 効果的な練習法についての講義 4. 運動・スポーツでのけがや事故の予防についての講義	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント					
	11月 (6月)	2単元 運動・スポーツの学び方 05体カトレーニング										
	6月 (11月)	2単元 運動・スポーツの学び方 06運動やスポーツでの安全の確保										
	6月 (11月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設⑦スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう										
	12月 (7月)	2単元 運動・スポーツの学び方 特設⑧スポーツ外傷・障害とその原因 特設⑨健康づくりのために運動を実践してみよう										
1月 (9月)	単位認定試験								(於相生本校)		4	考査
						面接指導(単位時間) 合計			4			

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
保健体育	体育d	2	保体701	大修館	現代高等保健体育

目標 【学習指導要領】	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	単元などの内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。その際、体育の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図る。また、運動の楽しさや喜びを深く味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意する。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保したか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 01生涯スポーツの見方・考え方	社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について説明することができる。	第7回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (10月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 特設①スポーツ科学のすすめ	スポーツにかかわるさまざまな学問・研究分野について理解することができる。						
	5月 (10月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 特設②スポーツにかかわる職業	スポーツにかかわるさまざまな職業について理解し、説明することができる。						
	5月 (10月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 02ライフスタイルに応じたスポーツ	ライフスタイルとスポーツのかかわり、自分に合ったスポーツライフの設計のしかたについて理解し、説明することができる。						
	6月 (11月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 特設③身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう	身のまわりの人のスポーツライフについて調査し、結果をまとめ、発表することができる。	第8回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	1. 体育実技指導(バドミントン・卓球・ビーチボール・グラウンドゴルフ等) 2. 体育実技指導(バドミントン・卓球・ビーチボール・グラウンドゴルフ等) 3. ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方についての講義 4. 日本のスポーツライフの特徴や豊かなスポーツライフへの課題についての講義	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月 (11月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 特設④自分でスポーツライフを設計してみよう	自分に合ったスポーツライフを設計し、発表することができる。						
	6月 (11月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 03スポーツを推進する取り組み	現在にいたるまでの日本のスポーツ推進の歩みや、地域におけるスポーツクラブの状況について理解し、説明することができる。						
	6月 (11月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 特設⑤諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう	諸外国のスポーツ推進の取り組みやその状況について理解し、説明することができる。						
	7月 (12月)	3単元 豊かなスポーツライフの設計 04豊かなスポーツライフの創造	日本のスポーツライフの特徴を理解し、自分なりの豊かなスポーツライフを創造していくための課題を説明することができる。						
	9月 (1月)	単位認定試験							
面接指導(単位時間) 合計							4		

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
保健体育	保健a	1	保体050-901	大修館	現代高等保健体育 改訂版

目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行う。 ・生徒の内容への興味・関心を高めたり、思考を深めたりする発問を工夫する。 ・自他の健康やそれを支える環境づくりと日常生活との関連が深い教材・教具を活用する。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組めたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1単元 現代社会と健康 01 健康の考え方と成り立ち ～ 08 休養・睡眠と健康	・現代社会の健康問題や新しい時代の健康の考え方について説明できる。 ・生活習慣病、薬物乱用、精神疾患など、健康にかかわる問題について説明できる。 ・健康のとらえ方や健康のために個人や社会に求められることについて説明できる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	4月 (10月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	1単元 現代社会と健康 09 喫煙と健康 ～ 17 性感染症・エイズとその予防	・交通事故やその他の事故、自然災害、犯罪などへの備えについて説明できる。 ・応急手当の手順や方法について説明できる。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)				
	6月 (12月)	1単元 現代社会と健康 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり 2単元 安全な社会生活 01 事故の現状と発生要因 ～ 05 日常的な応急手当	・交通事故やその他の事故、自然災害、犯罪などへの備えについて説明できる。 ・応急手当の手順や方法について説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。	第3回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	心肺蘇生法の方法と手順についての講義・実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	7月 (12月)	2単元 安全な社会生活 06 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 ・実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。						
	9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査

面接指導(単位時間) 合計	1
---------------	---

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
保健体育	保健b	1	保体701	大修館	現代高等保健体育 改訂版

目標 【学習指導要領】	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行う。 ・生徒の内容への興味・関心を高めたり、思考を深めたりする発問を工夫する。 ・自他の健康やそれを支える環境づくりと日常生活との関連が深い教材・教具を活用する。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組めたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期 (後期)	10月 (4月)	3単元 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 ～ 07 中高年期と健康	・私たちの心や体は、高校生の時期から大人に近づき、年齢を重ねながら変化することを理解している。 ・生涯の各段階で健康課題も変化することを理解している。 ・思春期から中高年期までのさまざまな健康問題について説明できる。	第4回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	4月 (10月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書	
	11月 (5月)	3単元 生涯を通じる健康 08 働くことと健康 ～ 10 健康的な職業生活	・労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進される仕組みなどについて説明できる。	第5回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	安全な社会生活を送るための「性情報と性行動の選択」及び「避妊法と人工妊娠中絶」についての講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	11月 (6月)	4単元 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 ～ 04 ごみの処理と上下水道の整備	・周囲の自然環境や食品に関する健康問題について理解している。 ・社会の制度や保健活動といった社会環境の在り方について説明できる。	第6回	最終締切 12/16 (7/17)					
	12月 (7月)	4単元 健康を支える環境づくり 05 食品の安全性 ～ 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・社会全体の健康を高めるために、私たち一人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について説明できる。							
	1月 (9月)	単位認定試験				(於相生本校)			1	考査
						面接指導(単位時間) 合計			1	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
芸術	音楽 I	4	音 I 902	教育芸術社	高校生の音楽 I

目標 【学習指導要領】	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	さまざまなジャンルの音楽を鑑賞し、知識だけでなく感性を育て、歴史的背景や音楽の構成を学ぶことでさらに理解を深める。 歌唱においては、言語の特性と詩や音楽に込められた作者のメッセージを感じ取りながら、呼吸を意識した発声法を学びながら表現力を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 音楽的な見方、考え方を身につけるために基本的な知識、歴史等を学び、自身で創意工夫して音楽表現をするために必要な技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】 学んだことをもとに自身の音楽表現に生かし、また音楽そのものの美しさを味わい楽しみ、さらに表現力を高めていくことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な音楽ジャンルだけでなく幅広い音楽文化に親しみ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育んで、音楽によって自身の生活や社会を明るく豊かなものにしていく意欲が見られたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期(前期)	10月(4月)	歌唱(日本歌曲)	日本歌曲を取り上げ、歌詞の内容を把握し、言葉の特性と楽曲の背景を理解し表現力を深める。	第1回	中間締切 10/29 (5/29)	10月(4月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月(5月)	西洋音楽史	古代～バロック時代の音楽史の流れを追い、それぞれの時代における特徴、作曲家について学ぶ。	第2回					
	11月(5月)	西洋音楽史	古典派の音楽、代表的な作曲家、作品を聴きながら音楽の特徴や歴史背景を考察する。また、オーケストラの楽器についても学ぶ。	第3回	中間締切 12/9 (7/10)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	楽器の発達とともに音楽の形式や規模の変遷を考察する。また各時代における名曲を取り上げ、作曲家と歴史背景を学ぶ。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 スクーリング プリント
	11月(6月)	歌唱(ドイツ歌曲)	ロマン派～現代までの音楽史を追い、その中からロマン派のリートを原語で歌う。	第4回					
	12月(6月)	鑑賞	日本の伝統芸能や世界の様々な様式の音楽について文化的背景を学び、楽器の音や響きなど鑑賞することで感性を磨く。	第5回					
	12月(7月)	楽典	西洋音楽の楽典の基礎を学び、理解する。	第6回	1	よく使われる楽語を学び、楽譜から得られる情報を読み解く。			
	2月(9月)	単位認定試験				(於相生本校)			0
						面接指導(単位時間) 合計		4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
芸術	美術 I	2	美 I -702	日本文教出版	高校生の美術1

目標 【学習指導要領】	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・美術の多様な表現方法や様式について理解し、意図に基づいて構想や表現を工夫する力を養う。また表現することの喜びや楽しさを味わい、実感を通した学びの実現を図る。 ・鑑賞を通して、多様な表現や美術文化についての理解を深めるとともに、感性を高め、生徒の主体的で深い学びの実現を図る。
評価の観点	【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができたか。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む意欲が見られたか。また感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする姿勢が見られたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評価)		
				回	締切日	時期	内容	時間			
後期 (前期)	10月 (4月)	【絵画】 ・身近なものを描く ・植物を描く ・視点と表し方 ・想像を形に ・視覚のトリックを生かして ・大きさを意識して	・身近なものの美しさや全体のイメージを捉え、表現する事ができる。 ・作者や作品の意図や表現の工夫について、知識を理解を深め、感じ取ることができる。	第1回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10月～12月 (6月～7月) (於相生本校)	・作品の意図や表現の工夫についての学習 ・身近なものをモチーフとした実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技		
	11月 (5月)	【絵画】 ・私の見つけた風景 ・人物を描く ・光を捉える	・風景の中の空間や色彩効果を捉え、感じたことを表現できる。 ・作品の特徴や、それがもたらす効果について説明できる。	第2回		スクーリング 10月～12月 (6月～7月) (於相生本校)	・構図や色彩の効果についての学習 ・色彩表現の実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技		
	11月 (5月)	【絵画】 ・日本美術 ・浮世絵版画の魅力 ・版で表す	・日本特有の美意識や美術表現の特徴を捉える。 ・日本美術史についての理解を深め、作品を比較、説明できる。	第3回		11月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書		
		【デザイン】 ・生活を彩る模様	・墨や漫画の表現の特徴について理解を深め、表現する力を高める。			11月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書		
	11月 (6月)	【彫刻】 ・立体表現の魅力 ・塑像で表す ・彫って表す ・抽象表現で表す ・身近な素材と立体表現 ・祈りの形	・立体表現の特徴や触覚的なイメージを捉える。 ・西洋美術や立体表現の変遷について、知識と理解を深め、作品を比較、説明できる。	第4回		11月 (6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書		
	12月 (6月)	【デザイン】 ・デザインの世界 ・私の考えるデザイン ・イラストレーションの魅力 ・キャラクターのデザイン ・パッケージのデザイン ・暮らしの中の使うデザイン	・デザインの役割や意義について知識と理解を深める。 ・身の回りのデザインについて関心を持ち、デザインの意図を捉えることができる。	第5回		スクーリング 10月～12月 (6月～7月) (於相生本校)	多様なデザインの特徴と意義についての学習	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント		
		【デザイン】 ・サインのデザイン ・ポスターで伝える ・デザインとテクノロジー	・文字やイラスト、色彩についての効果や特性についての理解を深める。			スクーリング 10月～12月 (6月～7月) (於相生本校)	実用的なデザインについての学習と実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技		
	12月 (7月)	【映像メディア表現】 ・写真で表す ・アニメーションの手法 ・映像で伝えるメッセージ ・映像に包まれて	・映像表現の特徴や、表現効果についての理解を深める。 ・アニメーションの仕組みについて理解し、構成や効果を考えて表現できる。	第6回		12月 (7月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書		
			単位認定試験(実技)								
							面接指導(単位時間) 合計			4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
芸術	書道 I	2	書 I 901	東京書籍	書道 I

目標 【学習指導要領】	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①書の実践の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。 ②書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい、捉えたりすることができるようになる。 ③主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・筆の持ち方や姿勢が不安定な生徒には、個別に声かけをし、丁寧に指導する。また、苦手意識や不安が多い生徒については肯定感をあげるため成功体験を短時間で実感できるよう、籠字等を用いて段階的な課題設定を行う。 ・安心して授業に取り組めるよう、プレゼンテーションによる視覚支援の教材や、環境に配慮する。
評価の観点	【知識・技能】 各書体の基本点画の特徴を理解し、適切な筆使いで表現している。 【思考・判断・表現】 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現をし、改善点を見い出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 より良い作品を目指して他者の意見も取り入れ意欲的に改善しようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	書写から書道へ ○書写で学んできたこと ○具・用材の製造方法	・書道 I を学習する目的、用具・用材の特徴について知識と理解を深める。書の実践効果を感じ取る。	第1回	中間締切日 10/29	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	姿勢・執筆法についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 実技
	10月 (5月)	書写から書道へ ○書の実を楽しま ○書写で学んできたこと ○楷書の基本 ○行書の基本	・漢字の書体の変遷・文字の伝統と文化について理解を高める。		最終締め切り日 12/16	10月 (5月) (於:相生本校)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月 (5月)	漢字の書 ○漢字の成立と変遷 ○楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」「自書告身」 ○唐の四大家	・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の特徴について知識と理解を深め、それぞれの特徴をとらえる。 ・楷書の用筆・運筆・結構法・字形の取り方について理解し作品を仕上げる。	第2回	中間締切日 10/29	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	・書体の変遷についての学習 ・漢字の楷書についての 実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技
	11月 (6月)	漢字の書 ○行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」 「風信帖」 三筆から三蹟へ	・行書の特徴を理解する。 ・字形の取り方・用筆等楷書と比較してより鮮明に特徴をとらえる。 ・行書の用筆・運筆・字形の取り方を理解し、「表現の特徴」を手掛かりに作品を仕上げる。	第3回	最終締め切り日 12/16	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	・楷書の基本を振り返りながら行書の特徴についての学習 ・漢字の行書についての 実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技
	11月 (6月)	漢字の書 ○草書の特徴 「真草千字文」 ○隸書の特徴 「曹全碑」 ○篆書の特徴 「篆書の特徴」	・それぞれの書体が成立する過程や、特徴について理解する。	第4回	中間締切日 12/9	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	それぞれの書体の特徴・運筆・用筆等をつかむ	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
		漢字の書 ○創作 ～古典を生かそう～ ○鑑賞 ～書の実や風趣を味わおう～	・古典の特徴や技法を生かして創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。						
	11月 (6月)	仮名の書 ○仮名の成立 ○仮名を書く準備 ○平仮名の単体 ○変体仮名 ○連綿	・仮名の成立を理解し、単体・連綿の表現の違いに注目する。用筆・運筆の技法も合わせて習得する。	第5回	中間締切日 12/9	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	仮名の書についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月 (7月)	漢字仮名交じりの書 ○表現を比べよう	・日常生活に近い漢字・仮名交じりの書の線質・運筆・字形・文字の大小について意図に基づく表現を工夫する。	第6回	最終締め切り日 12/16	スクーリング 10～12月 (6～7月) (於:相生本校)	漢字・仮名交じりの書についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
		篆刻と落款 生活に広げる ○便箋 ○封筒 ○履歴書の書き方	・便箋や封筒の宛名、履歴書など改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。						
			単位認定試験(実技)				(於:相生本校)		
面接指導(単位時間) 合計							4		

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーション I a	2	C I 002-901	東京書籍	All Aboard! English Communication I

目標 【学習指導要領】	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という。)</p> <p>別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やり取り] ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表] ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<p>4領域のバランスのとれた英語力の向上を図るため、その土台となる①文法事項の基礎的理解②語彙の修得、さらにその運用能力を高めるため自分自身の日常生活で起きる出来事や思いや考えを英語で伝える意欲を培う指導に努める。</p>
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】 各々の章において修得すべき文法・語彙表現や基礎(応用)単語が身に付き、十二分に使いこなすことが可能か。</p> <p>【思考・判断・表現】 英語特有の表現の仕方を理解し、日本語に捕らわれず思考を柔軟に変えることができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題だけの高得点を狙わず、試験でも力を発揮できるように努力しているか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月(10月)	Warm-Up 1-3 【言語材料】Pre-Lesson1-2 Be動詞 一般動詞 【言語活動】自己紹介	・英語学習において教室で使う表現や疑問詞 ・自己紹介でBe動詞と一般動詞の違いを知り、否定文・疑問文・応答文が運用できる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月(11月)	Lesson1 (Breakfast around the World) 【言語材料】動詞の過去形 【言語材料】好きな食べ物について述べる。	・世界の朝食を表現する ・Be動詞と一般動詞の過去形の使い分けができる。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)				
	5月(11月)	Lesson2 (Australia's Cute Quokkas) 【言語材料】現在進行形 過去進行形(文法のまとめ) 【言語活動】好きな動物について述べる。	・その国特有の動物とその保護について表現しようとする。 ・進行形の表現が運用できる。	第3回					
	6月(11月)	Lesson3 (Life with Spade) 【言語材料】助動詞(can, will) (文法のまとめ2) should may must 【言語活動】ある場所への行き方とそこでできることを述べる。	・職業としての運転手と東北大震災後の復興について学ぶ ・助動詞と助動詞に似た働きをする多様な表現を学ぶ。	第4回					
	6月(12月)	Lesson4 (A Miracle Mirror) 【言語材料】to+動詞の原形 不定詞 Extra Target 接続詞 【言語活動】行ってみたい場所について述べる。	・行ってみたい場所について情報や気持ちを英語で発表する。 ・名詞、形容詞、副詞の役割を果たす不定詞を理解し慣れる。	第5回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	各Lessonの内容と文法	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	7月(12月)	Lesson5 (A Dream Engine) 【言語材料】動名詞 【言語活動】将来の夢について述べる Reading 1 (Short Stories In English) 【言語材料】それぞれの場面のユーモアを理解する 【言語活動】登場人物の気持ちを考え音読する。	福岡県博多工業の高校生は世界最速を目指して空気エンジンの開発に挑戦している。失敗を通して成功へ導く貴重な体験をしている。 ・動名詞を用いて将来の夢や楽しんだことを語る ・ショートストーリーを読み、場面や心情を読み取って、英語のユーモアが理解できる。	第6回	最終締切 7/17 (12/16)				
	9月(1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーション I b	2	C I 002-901	東京書籍	All Aboard! English Communication I

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やり取り] ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表] ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>4領域のバランスのとれた英語力の向上を図るため、その土台となる①文法事項の基礎的理解②語彙の修得、さらにその運用能力を高めるため自分自身の日常生活で起きる出来事や思いや考えを英語で伝える意欲を培う指導に努める。</p>
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】 各章において歴史や地球環境、文学作品など幅広い視野・知識を取り入れることができ、単語も多様な分野に渡り修得できているか。 【思考・判断・表現】 課題を進めると共に文法や語彙を理解し、本文の読解力につなげることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 最終章に進むほど長文になり単語数が増えるため、集中力が問われる。授業中の態度にも重きをおいて判断する。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月(10月)	Lesson 6 (The Funny Pictures from the Edo Period) 【言語材料】 受け身<be動詞+過去分詞> 【言語活動】 好きな絵を英語で述べる	江戸時代の浮世絵と現代のマンガの関連を学び、好きな絵の紹介と理由を受け身形を用いて情報や考え、気持ちを話して伝えあう技能を身に付ける。	第7回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月(11月)	Lesson 7 (A Diary of Hope) 【言語材料】 比較表現 【言語活動】 関心ある人物について英語で説明することができる	・比較表現を用いてアンネフランクや自分で関心のある人物について学んだことを伝え合う。 ・比較級最上級を理解し慣れる。	第8回					
	5月(11月)	Lesson8 (A Door to a New Life) 【言語材料】 現在完了形<have/has+過去分詞> 現在までの「経験」「継続」「完了」で通して時制を表現する 【言語活動】 ロボットが人間の代わりに教師として授業のすることの利点欠点を考え意見を述べる。	現在完了形も用いた文の形・意味用法を理解し、ロボットカフェについて学んだりロボットについて自分で調べたことを伝える。	第9回					
	6月(11月)	Lesson9 (Ghosts in the Oceans) 【言語材料】 名詞を後ろから説明する分詞 【言語活動】 海城汚染を認識し、環境問題に対する取り組みの中で何が自分にできるか考える。	「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文を理解し、プラスチックごみの問題を調べ、自分たちでできることを伝え合う。	第10回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	各Lessonの内容と文法	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月(12月)	Lesson10 (Pigs from across the Sea) 【言語材料】関係代名詞:who,which 人や人以外の物についてさらに詳しく説明できるようにする。 【言語活動】海外の文化や社会に対する理解を深める活動や出身地や思い出の建物などについて英語で述べるができる。	関係代名詞who,whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。 第二次世界大戦ごの沖縄へのハワイの援助や現代までの交流を学ぶ。世界の文化や社会について伝え合う。	第11回					
	7月(12月)	Reading 2 (Mujina) 【言語材料】小泉八雲作 江戸時代の怪談『ムジナ』を朗読する 【言語活動】。商人の心情がどのように変わっていったかを場面ごとに情景を捕らえ、抑揚をつけて読む。 (Extra Target) 仮定法過去の表現で、現実の自分ではありえないことを想像し表現する。 (英文の型)5文型を理解する (区切り)文の意味のかたまりをとらえ、区切ることによって読む力をつける。	・ストーリーの内容を理解し、場面や心情を読み取ることができる。 ・仮定法過去を理解する。 <If+過去形の文、I would...> ・ストーリーの内容を理解し、場面や心情を読み取ることができる。 ・仮定法過去を理解する。 ・文型の理解と区切りを見極め読解力を身に付けることができる。	第12回					
	9月(1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語科	英語コミュニケーションⅡa	2	CⅡ701	東京書籍	All Aboard! English Communication Ⅱ

目標 【学習指導要領】	(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力を育成する。・「主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」を養う・複数領域を結び付けた統合的な言語活動の充実を図る。・状況に応じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりできるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】「英語の特徴やきまりに関する事項」を理解し、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けているか。 【思考・判断・表現】必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしているか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月(10月)	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island	・海外で行ってみたい場所について、英語で述べる事ができる。・関係代名詞: what	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月(11月)	Let's Listen 1 ホテルにチェックイン Communication 1 病院で診察 Lesson 2 With the Beatles Word Box 1 Feelings and Emotions	・世代を超えて人気のある人物について英語で述べる事ができる。・感覚や感情を表す語句を使って英文を作成することができる。・比較表現: more, the most	第2回					
	5月(11月)	Lesson 3 Wild Men 文法のまとめ 1 (関係代名詞/比較表現/itの用法)	・「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。・身近な行事について英語で紹介することができる。・形式主語 it の用法	第3回					
	6月(11月)	Lesson 4 Little Hero Let's Listen 2 世界自然遺産 Extra Target 1 ずっと...し続けています	・ハチドリ物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。・間接疑問文	第4回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	Lesson 2, 3, 4, 5のテキストの読解と文法の解説・リスニングとコミュニケーション演習	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月(12月)	Word Box 2 A Day in English: Part 1 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	・日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習し、日本の伝統文化について、英語で説明することができる。・to不定詞を含む表現	第5回					
	7月(12月)	Word Box 3 The Body and Clothes Reading 1 Mujina 文法のまとめ 2 (間接疑問文/to不定詞を含む表現/動詞の形と「時」の関係)	・身体の各部分や衣服などを表す語句を用いて英語で対話する。・怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。	第6回					
	9月(1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語科	英語コミュニケーションⅡb	2	CⅡ701	東京書籍	All Aboard! English Communication Ⅱ

目標 【学習指導要領】	(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりする資質・能力を育成する。 ・「主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」を養う ・複数領域を結び付けた統合的な言語活動の充実を図る。 ・状況に応じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりできるようにする。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】「英語の特徴やきまりに関する事項」を理解し、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けているか。 【思考・判断・表現】必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしているか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	Lesson 6 Seeds for Future Generations Word Box 4 Various Jobs	・伝統野菜についての発表を通して、伝統の継続について考える。 ・地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。・if節	第7回	中間締切 10/29 (5/29) 最終締切 12/16 (7/17)	10月 (4月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月 (5月)	Lesson 7 Over the Wall Communication 2 入国審査 Getting the Necessary Information	・世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。・関係副詞: where, when ・入国審査で使われる表現を学ぶ。	第8回					
	11月 (5月)	Lesson 8 Inspiration from Nature 文法のまとめ 3 (動詞の目的語になるif節/関係副詞/知覚動詞)	・生物模倣からのデザインをヒントに開発された製品について学習する。・自然界のデザインをヒントにした製品について英語で発表できる。・知覚動詞	第9回					
	11月 (6月)	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate エッセイライティング Extra Target 2 ○○ならいいのに...	・カカオ農園の実態と児童労働問題について学習する。・社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。・使役動詞	第10回	中間締切 12/9 (7/10) 最終締切 12/16 (7/17)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	Lesson 7, 8, 9, 10のテキストの読解と文法の解説・リスニングとコミュニケーション演習	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月 (6月)	Lesson 10 Fighting Angel 文法のまとめ 4 (使役動詞/分詞構文)	・ナイチンゲールの生涯について学習する。・人を助ける職業について、英語で説明することができる。・分詞構文	第11回					
	12月 (7月)	Reading 2 Bear's Pie Word Box 5 A Day in English :Part 2	・登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を演じて発表する。・平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。	第12回					
	1月 (9月)	単位認定試験					(於相生本校)		考査
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーションⅢa	2	CⅢ701	東京書籍	All Aboard! English CommunicationⅢ

目標 【学習指導要領】	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報源などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量において、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションⅡからさらに700～950語の新語を加え、不定詞、現在完了形、使役動詞、受け身、関係代名詞、など文法事項の中から5つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱う。 ・日常的にはニュース、新聞記事、物語、学校内外の活動、地域社会などを題材として、社会的にはニュース、論証文、記録文などを通して、内容・情報を読みとり4技能(5領域)をバランスよく適宜に取り扱い、学習意欲を高めて行く。
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期(後期)	4月(10月)	Lesson1 Gifts to Barcelona [題材内容]ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおけるその意味について学習する。 [言語材料]to不定詞/動名詞 [言語活動]建築物について、英語で説明できる。	建築物について、英語で紹介することができる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	5月(11月)	Lesson2 Akkamui [題材内容]北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。 [言語材料]現在完了形 [言語活動]生き物の特徴について英語で説明できる。	生き物の特徴について、英語で説明することができる。	第2回						
	5月(11月)	Lesson3 Your True Colors [題材内容]衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。 [言語材料]使役動詞 [言語活動]ファッションについて英語でインタビューできる。	ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。	第3回	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	各Lessonの内容と文法	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント		
	6月(11月)	Lesson4 Our Future Food? [題材内容]コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して食糧問題について学習する。 [言語材料]受け身 [言語活動]食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。	食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。	第4回						
	6月(12月)	Lesson5 Madagascar [題材内容]マダガスカル naturally and human life through, global environment or ecosystem thinking. [言語材料]関係代名詞 [言語活動]地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。	地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。	第5回						
	7月(12月)	Reading 1 The Fun They Had [題材内容]未来の機械化された学校と生徒の日常生活についての物語を読み、各場面の状況と登場人物の心情を読み取る。 [言語活動]各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら、やや複雑な構造の物語を音読する。	内容を理解し、各場面での登場人物の心情をとらえ、音読ができる。	第6回	(於相生本校)			0	0	
	9月(1月)	単位認定試験								
						面接指導(単位時間) 合計			4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーションⅢb	2	CⅢ701	東京書籍	All Aboard! English CommunicationⅢ

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報源などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量において、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やりとり] ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表] ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションⅡから700～950語の新語を加え、不定詞、関係代名詞、関係副詞、接続詞、助動詞、前置詞、動詞の時制及び相など、仮定法など文法事項の中から5つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱う。 ・日常的にはニュース、新聞記事、物語、学校内外の活動、地域社会などを題材として、社会的にはニュース、論証文、記録文などを通して、内容・情報を読みとり4技能(5領域)をバランスよく適宜に取り扱い、学習意欲を高めて行く。
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり 伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月(10月)	Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors. [題材内容]古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。 [言語材料]関係代名詞(who, which)の非制限用法 [言語活動]訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	4月(10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月(11月)	Lesson7 Green Challenges [題材内容]地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。 [言語材料]比較表現 [言語活動]再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションができる。	再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。	第2回					
	5月(11月)	Lesson8 Witnesses of War [題材内容]原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転手だった女子生徒の経験を通して平和の大切さについて考える。 [言語材料]名詞を後ろから説明する分詞 [言語活動]経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。	経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章で書くことができる。	第3回					
	6月(11月)	Lesson9 The wonders of Lighting [題材内容]海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。 [言語材料]仮定法過去 [言語活動]電気の有効活用について、英語でミニディベートすることができる。	電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。	第4回					
	6月(12月)	Lesson10 Kathering's Long Journey [題材内容]人種差別の壁を超えて、アメリカの宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。 [言語材料]関係代名詞whose [言語活動]社会に影響を与えた人物について英語で、エッセイを書くことができる。	社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書くことができる。	第5回	中間締切 7/10 (12/9)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	各Lessonの内容と文法	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	7月(12月)	Reading 2 Table for Two [題材内容]ディケンズの本に導かれたような、若い男女の2度の巡り合いの物語を読んで、各場面の状況や登場人物の心情を読み取る。 [言語活動]各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。 教科書Lesson6-10、Reading2より ◇関係代名詞 ◇比較表現 ◇名詞を後ろから説明する分詞 ◇仮定法過去 上記文法の課題を復習詞ながら、語彙を増やし5技能を高める	内容を理解し、各場面での登場人物の心情をとらえ、音読ができる。	第6回	最終締切 7/17 (12/16)				
	9月(1月)	単位認定試験					(於相生本校)		
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	論理・表現 I	2	論 I 901	東京書籍	NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域(以下この節において「三つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 話すこと[やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>中学校などにおけるコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する指導を行う。</p> <p>デモンストレーションやモデルとなる文章などを豊富に提示し、生徒がそれらを活用しながら話したり書いたりする力を伸ばすことができるようにする。</p>
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>三つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現できるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを表現しようとしているか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期(後期)	4月 (10月)	Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介	褒める、勧める、 断る、提案する、 依頼する、道順を 説明する、身近な 人を紹介する、注 意を引く	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習により 免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	Unit1 Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所	体調を伝える、体 調を尋ねる、指 示・アドバイスをす る、描写する、相 づちを打つ、希望 を述べる、理由を 述べる	第2回					
	5月 (11月)	Unit1 Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラー に相談 Lesson9 お気に入りを紹介	誘う、誘いを受ける、 誘いを断る、状況を 説明する、手助けを 申し出る、助言・提 案する、お礼や感謝 を伝える、映画や本 のあらすじを要約し たり、登場人物など を紹介したりする、 感想や批評を述べ る	第3回	スクーリング 5月～6月 (10月～11 月) (於相生本校)	「イベントに誘った り、誘われたりする 場面、スクールカ ウンセラーとやり 取りをする場面、 自分のお気に入り を紹介するスピー チ」より学ぶ	4	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	6月 (11月)	Unit1 Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカ ッション Lesson12 英字新聞に投稿	相手に謝る、相手 を許す、相手を励 ます、共感を述べ る、残念な気持ち を述べる、解決策 を提案する、要望 や主張を述べる、 理由を述べる	第4回					
	6月 (12月)	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介	理由を述べる、例を 挙げる、相手の意見 に反駁する、相手の 意見を引用する、で きごとを生き生きと 描写する、経験から アドバイスをする、 ルールや手順を順 序だてて説明する、 聞き手の知識に合 わせて説明する	第5回	最終締切 7/17 (12/16)	「電子書籍と紙の 書籍についてクラ ス全体でチョーク ディベートをする 場面、自らの子供 のころの経験につ いてのスピーチ、 オリエンテーリング のルールや手順 を紹介するスピー チ」より学ぶ			
	7月 (12月)	Unit2 Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する	事実と意見を区別し て述べる、文化や習 慣を説明する、利点 と欠点を述べる、話 題を発展させる、話 題を変える、自分の 主張について理由 を説明する、理由を 要約してまとめる、 人の発言を直接引 用する、条件を出し て意見を述べる、説 得する	第6回	「日本の文化(こ んにやく)をPRす るスピーチ、兄弟 姉妹とのルーム シェアについての ライティング、外国 映画の見方につ いてのライティン グ」より学ぶ				
	9月 (1月)	単位認定試験				(於相生本校)			考査
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	論Ⅱ701	東京書籍	NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅡ

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)話すこと[やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な問題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報を考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>デモンストレーションやモデルとなる文章例などを豊富に提示し、生徒がそれらを活用しながら話すことや書くことによる力を伸ばすことができるようにする。</p> <p>語句やその意味を知識としてインプットするだけでなく、何回も音読したり、例文を作ってみたりすることで、さまざまな場面で自分の考えや気持ちを自分の言葉でアウトプットできるようにする。</p>
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>それぞれの状況に合わせた表現の形・意味・用法を理解しているか。</p> <p>学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく表現しようとしているか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期(前期)	10月(4月)	Unit1 Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	日常使用する英語表現(訂正する/心配する/感謝する/驚く/繰り返す/言い換える/注意を引く/同意を求める/望む/褒める)を身に付ける。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	単語の意味、日常よく使うフレーズ、並び替え問題についての講義、練習	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	10月(5月)	Unit1 Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	日常使用する英語表現(誘う/説明する/聞き直す/依頼する/要約する/言い換える/困ったことを伝える/控えめに依頼する)を身に付ける。	第2回		10月(5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月(5月)	Unit1 Lesson9 タクシーに乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	日常使用する英語表現(依頼する/提案する/仮定する/反対する/報告する/比較する/説明する/理由を述べる)を身に付ける。	第3回	最終締切 7/17 (12/16)	11月(5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	単語/熟語の意味や使い方、仮定法を使った表現についての講義、練習	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	11月(6月)	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	日常使用する英語表現(推論する/賛成・反対する/主張する/説得する)を身に付ける。	第4回	中間締切 7/10 (12/9)	11月(6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月(6月)	Unit2 Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	日常使用する英語表現(報告する/望む/説明する/主張する/提案する)を身に付ける。	第5回		スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	単語の意味、日常よく使うフレーズ、並び替え問題についての講義、練習	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月(7月)	Unit2 Lesson6 仮定して推論する Lesson7 仮定して説明する Lesson8 読み手を説得する	日常使用する英語表現(仮定する/推論する/比較する/類似点と相違点を説明する/主張する/説得する)を身に付ける。	第6回	最終締切 7/17 (12/16)	12月(7月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
						スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	単語の意味、日常よく使うフレーズ、長文読解の練習	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
9月(1月)	単位認定試験				(於相生本校)			1	考査
						面接指導(単位時間) 合計			4

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
家庭	家庭総合a	2	家総901	東京書籍	家庭総合 自立・共生・創造

<p style="text-align: center;">目標 【学習指導要領】</p>	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に実現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
<p style="text-align: center;">目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングでは実習を中心とした指導を行い、裁縫技術が学習でき、かつ生徒の興味、関心、制作意欲の湧くような日常の用途に優れた題材を選ぶ。 ・身近な事例を取り上げ、親の役割や子育てを支援する環境や福祉、高齢者福祉の基本的な理念や地域及び社会の果たす役割に重点を置く。
<p style="text-align: center;">評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】 各分野の生活に関する基礎的・な技術を理解し、身につけ、生活の中で生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のために思考を深め、自分の考えをまとめ判断し、工夫したり創造したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各分野に関心を持ち、その充実向上を目指し、意欲的に取り組むとともに、自立した生活に向けて、実践的な態度を身につけようとする。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)				
				回	締切日	時期	内容	時間					
前期 (後期)	4月 (10月)	生涯を見通す ・人生を展望する ・目標を持って生きる	自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/17 (12/16)	4月 (10月)	メディア学習 により免除	0	レポート 視聴報告書				
	5月 (11月)	人生をつくる ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	生涯を見通して、自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	第2回									
	5月 (11月)	子どもと共に育つ ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境	子どもの育つ力を理解するとともに、親になったとき、あるいは地域や社会の一員として、子どもとどう関わり、育てていくかを考え	第3回									
	6月 (11月)	超高齢社会を共に生きる ・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢者の心身の特徴 ・高齢者の自立を支える ・これからの超高齢社会	超高齢社会を生きる者として、充実した毎日を送ることができる社会のあり方について考える。	第4回	中間締切 7/10 (12/9) 最終締切 7/17 (12/16)					スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	課題製作を通して基礎的な縫い方を身に付け、今まで気づかなかった布製品の側面について知る。作成計画の立て方を考え、身に付ける。	2	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	6月 (12月)	共に生き、共に支える ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる	誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	第5回									
	7月 (12月)	食生活をつくる ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全	よりよい食習慣を身に付けるための知識を学び、生活の質を高める視点と生活習慣病予防の視点を持つ。	第6回									
	9月 (1月)	単位認定試験											
						面接指導(単位時間) 合計		2					

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
家庭	家庭総合b	2	家総901	東京書籍	家庭総合 自立・共生・創造

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に実現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
<p>目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングでは実習を中心とした指導を行い、裁縫技術が学習でき、かつ生徒の興味、関心、制作意欲の湧くような日常の用途に優れた題材を選ぶ。 ・衣生活・食生活・住生活について科学的に理解させ、各の文化について関心を持たせ、主体的な営みができるようにする。 ・生活における経済の計画について身近な事例を取り上げることで、主体的に問題に取り組む姿勢を養う
<p>評価の観点 (観点別評価)</p>	<p>【知識・技能】 各分野の生活に関する基礎的・な技術を理解し、身につけ、生活の中で生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のために思考を深め、自分の考えをまとめ判断し、工夫したり創造したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各分野に関心を持ち、その充実向上を目指し、意欲的に取り組むとともに、自立した生活に向けて、実践的な態度を身につけようとする。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	食生活をつくる ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活	よりよい食習慣を身に付けるための知識と技術を学び、生活の質を高める視点と、食料自給率や資源環境の視点から、食生活について考える。	第7回	中間締切 10/29 (5/29)	10月 (4月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月 (5月)	衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する	健康で快適に装うために、どのように被服計画を立てていけばよいかを考え、身に付ける。	第8回	最終締切 12/16 (7/17)				
	11月 (5月)	衣生活をつくる ・被服を作る ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活	目的に合った被服を製作するために、被服の構成を理解する。	第9回					
	11月 (6月)	住生活をつくる ・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	安全で快適な住居を整え、地域の住文化に溶け込み、街並みや周囲の自然環境と調和した持続可能な住生活を営むために必要な知識を身に付ける。	第10回	中間締切 12/9 (7/10)	スクーリング 10月～11月 (5月～6月) (於相生本校)	課題製作を通して基礎的な縫い方を身に付け、今まで気づかなかった布製品の側面について知る。作成計画の立て方を考え、身に付ける。	2	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月 (6月)	経済生活を営む ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする ・これからの経済生活	自立した消費者として適切に意思決定を行い、消費生活をマネジメントする力を身に付ける。	第11回	最終締切 12/16 (7/17)				
	12月 (7月)	持続可能な生活を営む ・持続可能な社会を目指して ・一人一人の力で社会を動かす ・これからの生活を創造する ・生活をデザインする	地球全体で起こっているさまざまな問題の課題について学び、生活者として何ができるか考え、取り組み、持続可能なライフスタイルを実現する。	第12回					
1月 (9月)	単位認定試験					(於相生本校)		2	考查
面接指導(単位時間) 合計								2	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
情報	情報 I	2	情 I 901	東京書籍	新編情報 I

目標 【学習指導要領】	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。(2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	多様なコミュニケーションの実現、情報技術の発展と社会の変化についての理解を深める。問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	1章 情報で問題を解決する	情報メディアの特性を理解する。問題解決の手順を理解する。著作権や産業財産権についての理解を深める。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	スクーリング 5月～6月 (10月～11月) (於相生本校)	伝え手と受け手の立場からみた「情報」の特性と価値	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	5月 (11月)	2章 情報を伝える	ネットコミュニケーションについて、理解を深める。アナログとデジタルの特徴を理解する。	第2回					
	5月 (11月)	3章 コンピュータを活用する	コンピュータの五大装置について確認する。プログラムとシミュレーションの作成手順について確認する。	第3回	中間締切 7/10 (12/9)	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	6月 (11月)	4章 データを活用する	インターネットのしくみについて理解し、情報セキュリティの特性を確認する。	第4回					
	6月 (12月)	5章 活動して提案する 巻末	ワープロソフト・表計算ソフトなど、様々なソフトウェアの活用方法を確認する。プログラミングについての理解を深める。	第5回		(於相生本校)			考査
	7月 (12月)	振り返り	1章からの学習を踏まえ、様々な問題について手順を確認し、理解を深める。	第6回					
	9月 (1月)	単位認定試験							
面接指導(単位時間) 合計								2	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
体験学習	ボランティア	2	-	-	-

目標	<p>自らが社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを考える力を養う。自分が価値のある大切な存在であることを実感するとともに、他人を思いやる心や社会生活を営む上での規範を学ぶ。</p> <p>様々な社会問題に対する問題意識を広げたり深めたりする。</p>
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関するさまざまな体験活動を通して、ボランティア活動への意欲・関心を高めるとともに、高齢者や障がい者への正しい理解を深め、自ら行動できる豊かな心を育む。 ・外部講師の方やボランティア職員の方の指示に従い、一人一人が有意義な体験活動となるよう心がける。
評価の観点 (観点別評価)	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字の仕組みや目的を理解している。 ・認知症に関する基礎知識(症状・対応・社会的課題など)を理解している。 ・ボランティアの意義や役割について説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字体験や講話を通して、福祉の課題を自分事として捉えて考察している。 ・ボランティア活動における自分の役割やできることを論理的に考えて、適切に表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字体験や講話に積極的に参加し、学ぼうとする姿勢が見られる。 ・福祉やボランティアに対して関心を持ち、学習を深めようとしている。 ・体験を通して、自分の行動を振り返り、今後の人生に生かそうとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法(5段階評価)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	ボランティアの言葉の意味やその目的、種類について学ぶ。	ボランティアの定義や意義を理解している。様々な種類のボランティアがあることを理解している。	第1回	締切 8/19 (1/19)	8月 (12月)	相生市社会福祉協議会の職員の方による講義を受講する。福祉とは何かについて学ぶ。	1	レポート 行動観察 課題プリント
	6月 (12月)	紙上に再現された点字を読んだり、紙面で再現したりする練習をし、点字になじむ。障害のある人とのコミュニケーション手段について考える。	点字のしくみや打ち方、読み方を学び、視覚障害者についての理解を深める。障害のある人とのコミュニケーションについて考えられるようになる。	第2回		8月 (12月)	【点字体験】相生市ボランティアセンター登録グループ「相生点灯会」の方々にご協力いただき、点字のしくみや読み方、打ち方を学ぶ。	1	
						8月 (12月)	高齢者理解、主に認知症についての正しい知識を得るとともに、認知症患者への接し方などを、視聴教材やグループワークを取り入れながら理解する。	1	
	8月 (1月)	スクーリングで学んだことや自ら調べたことをふまえて、ボランティアや福祉についての考えをまとめ、自分にできることを考える。	ボランティアや福祉について理解し、自分の行動を振り返り、次に生かそうという意欲がみられる。	第3回		8月 (12月)	まとめ講義を通じて学んだことを振り返る。	1	
面接指導(単位時間) 合計								4	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
体験学習	漁業	2	—	—	—

<p style="text-align: center;">目標 【学習指導要領】</p>	<p>地元特産物である牡蛎の養殖や相生湾での海釣りなど漁業体験を通して、地域住民との交流により絆を深める中で、思いやりやリーダーシップ、社会的責任感等、人間愛溢れる人材育成を図る。</p>
<p style="text-align: center;">目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>海岸、海上での活動が中心となる為、事前説明での注意喚起、安全の自己管理を徹底し、また救命道具等の安全対策を行う。講義や体験を通じ、漁業や食などの日本文化、それらを取り巻く現状に関心を持たせる。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	7月 (11月)	体験内容の事前説明、漁業の概論について講義。	日本を取り巻く漁業の現状を理解する。	第1回	7月 (11月)	相生の地に根ざした文化産業である漁業を通じ、今日の日本の産業の問題を知る。講義や体験から学んだことをレポートに報告する。また感想を生徒同士で共有する	1	レポート 行動観察
		漁業体験:釣りの経験のある生徒をリーダーとして班を構成する。事前講義で学んだ内容を、関係者や教職員、生徒同士のコミュニケーションを通しながら体験する。	魚を釣る・漁をすることの文化的・社会的意義、命の大切さ、生きる事の本質を理解する。	第2回			1	
		体験を通して得た感想や漁業に関する事柄についてまとめる。	体験を通じて、命の大切さを理解する。	第3回			1	
面接指導(単位時間) 合計							4	

2026年度 通信教育実施計画書

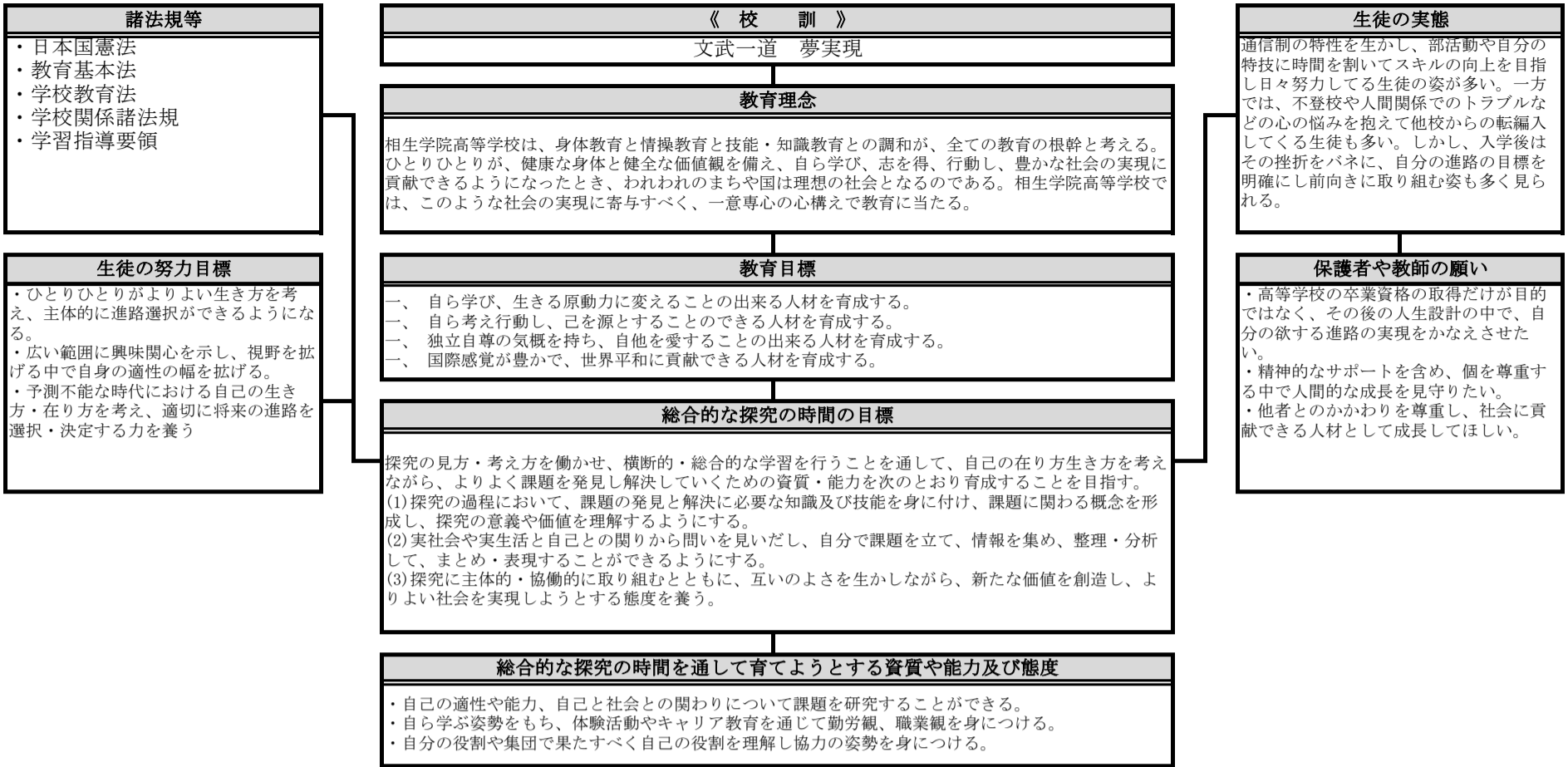
相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
体験学習	農業	2	-	-	-

目標 【学習指導要領】	相生市内のブドウ園の体験や講話などを通して、農作業に対する正しい理解と働く事の意義について考える。また、地域住民との交流を深めるとともに、思いやりやリーダーシップ、社会的責任感等、人間愛あふれる人材育成を図る。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	普段体験することがない農作業を通して、農業の社会的な役割について理解させ、農業に関心を持たせる。また、実際の作業を通して、作物の特性を知り、科学的な見方と実践力を養うとともに自然に対する畏敬の念を養う。
評価の観点 (観点別評価)	【知識・技能】 講義内容を聴いて、どのように作業をしようとしたか 【思考・判断・表現】 作業の内容の意味をしり、適切な作業方法を実施したか 【主体的に学習に取り組む態度】 実習への取り組み方はどうか

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
全期		下記Ⅰ、Ⅱよりいずれかを選択 ・前期はⅠを選択 ・後期はⅡを選択						
	6月	Ⅰ 農産物(ブドウ)の栽培環境を学ぶ ブドウ園(片山美果園)での実習 ・摘粒後のブドウの掃除 ・落ち葉掃除 ・ブドウの袋かけ ・ブドウ栽培について講話	ブドウの特質を知り、収穫までの過程とその時期における留意点について理解を深める。	第1回 第2回 第3回	スクーリング 6月 (於相生本校)	農作業の体験や講話を通して、基礎的な知識を習得する。	4	行動観察 レポート 課題プリント
	12月	Ⅲ 農産物(ブドウ)の栽培環境を学ぶ ブドウ園(片山美果園)での実習 ・落ち葉掃除 ・剪定後の枝の片づけ ・ブドウ栽培について講話	ブドウの特質を知り、収穫までの過程とその時期における留意点について理解を深める	第1回 第2回 第3回	スクーリング 12月 (於相生本校)	農作業の体験や講話を通して、基礎的な知識を習得する。	4	行動観察 レポート 課題プリント
面接指導(単位時間) 合計							4	

2026年度 相生学院高等学校「総合的な探究の時間」通信教育実施計画書



年次	名称	目標	学習内容	指導方法・指導体制	評価の観点・基準・方法	添削指導(レポート)	面接指導(単位時間)	実施時期
1年次 ～ 3年次	私たちと情報社会Ⅰ	将来の就職に備えてIT知識の習得は必要不可欠である。国家試験「ITパスポート」の合格を目指すことで、将来の職業人として必要なITに関する基礎知識を習得させ、優秀な人材を育成する。	本科目は「情報」をテーマに、「ITパスポート試験」で求められる、職業人が備えておくべきITに関する共通の基礎知識のなかから、とくに基礎的な理論や法令等の考え方を学ぶ。	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。	レポート等の提出物並びに面接指導における発表、討論、活動状況等を資料として、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の各観点に基づき、指導者が総合的に評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 7月 後期 12月
	私たちと情報社会Ⅱ	ICT・IoTやAIを主体的に活用していくこれからの情報社会について考え、それに伴う情報モラルや最新トピックを、昨今の社会の変化に合わせて幅広く学ぶことを通して情報社会に主体的に参画する態度を養う。	本科目は「社会」をテーマに、社会を支えている「組織」に注目し、経営やマーケティングなどの理論を通じ、社会と私たちとの関係性を考える。	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。	レポート等の提出物並びに面接指導における発表、討論、活動状況等を資料として、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の各観点に基づき、指導者が総合的に評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/18	2時間	前期 7月 後期 12月
	私たちと伝統・文化Ⅰ	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を身に付け、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付ける。	陶芸の工程や歴史について学んだ上でお皿やカップ等一人1作品制作する。	科目横断的・総合的な学習を通して、よりよく自己の探求課題を発見し解決していくための資質・能力を地域の方々や専門家と協力して育成指導する。	レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習、発表や討論などにより、指導者の判断にて評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 5月 後期 10月
	私たちと伝統・文化Ⅱ	郷土や国で育まれてきた優れた伝統と文化などのよさについてさらに理解を深め、それらを育んできた我が国や郷土を愛するとともに、国際的な視野に立って、他国の生活習慣や文化を尊重する態度を養う。	絵付けの工程や歴史について学習した後、白磁のお皿またはカップに自由に絵付けをする。	科目横断的・総合的な学習を通して、よりよく自己の探求課題を発見し解決していくための資質・能力を地域の方々や専門家と協力して育成指導する。	レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習、発表や討論などにより、指導者の判断にて評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 5月 後期 10月
	文化交流と国際理解Ⅰ	国際的規模の相互依存関係の進展する国際社会において、国際的視野に立って、他国の生活差別的ない国際社会の平和と発展、習慣や文化を尊重する態度を養い、国際理解の精神と平和を大切にすることを養う。	子どもの人権や世界の環境問題など、世界にある問題について学び、国際社会に生きる一員としての自分の在り方を考え、考えをまとめる。	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。	レポート等の提出物並びに面接指導における発表、討論、活動状況等を資料として、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の各観点に基づき、指導者が総合的に評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 6月 後期 11月
	文化交流と国際理解Ⅱ	世界文化遺産についての映像視聴や講義を通して、海外の文化や自然について幅広く学ぶことで、異文化に対する理解と態度を身につけ、国際社会の中で独自性を持ちながら地球環境の保全に貢献できる態度を身に付ける。	世界遺産の「水」について学び、映像を通じて学習し、地球上に生きる一員として、自分の取り組めることや自分の在り方等を考え、意見をまとめる。	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。	レポート等の提出物並びに面接指導における発表、討論、活動状況等を資料として、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の各観点に基づき、指導者が総合的に評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 6月 後期 11月
	私たちとこれからの社会	社会における多様な職業や働き方、自己の特性に関する基礎的事項を理解するとともに、社会の変化を踏まえて将来の進路や生き方について多面的に考察し、自らの目標を主体的に設定し表現できる力を育成する。	職業理解や自己分析を進めるとともに、面接指導ではグループワークや発表活動を取り入れ、他者と交流しながら多様な考えに触れ、自分の将来像を具体的に描く学習を行う。	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。	レポート等の提出物並びに面接指導における発表、討論、活動状況等を資料として、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の各観点に基づき、指導者が総合的に評価する。	2回 レポート 締切日 前期：7/17 後期：12/16	2時間	前期 7月 後期 12月

各教科
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力をつける ・学力の向上を図る ・学ぶ意欲を向上させる ・資格および検定の取得を目指して学習する ・課題設定能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力をつける ・「公民」及び「特別活動」を、人間としての在り方生き方に関する教育を通して行う道徳教育の中核的な指導の場面として関連付ける。

特別活動			
<p>学業と進路</p> <p>相生学院のガイダンス機能を高め、全教職員で生徒個々の進路実現の支援にあたる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の機会と進路相談の充実を図る。 ・生徒指導の視点を含め、保護者を巻き込んだ三者懇談を実施する。 ・特別活動・総合的な探究の時間との連携を図る。 <p>・ハローワーク、e-WORK等、関係機関との効果的な連携を図る。</p> <p>スクーリングを通じ、望ましい集団活動と健全な生活習慣を確立する。また、集団の一員としての自覚と、規律ある生活態度を育てる。</p> <p>・人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。</p>	<p>ホームルーム活動</p> <p>自立から独立と生き抜く力の醸成を目指す。自己の生き方についての考えを深め、自己に活かす能力を養う。</p>	<p>儀式的行事</p> <p>帰属意識を高め集団の一員としての自覚を促す。互いに協力し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてのよりよい人間関係の育成を図る。</p>	<p>文化的行事</p> <p>芸術に身近に接し、文化的にも豊かな心を育む。伝統文化の継承に向けた自主的な取組を通じて、地域の一員として活動しようとする意欲を養い、郷土を愛する態度や心を養う。</p>
<p>健康安全体育的行事</p> <p>健康に関わる学習・体験を通して、生徒同士や地域の方とよりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育てる。</p>	<p>校外学習</p> <p>進んで人と交わり、その中で自己の役割を認め、理解し信頼しあえる人間関係を形成し、自主的・実践的な態度を育てる。</p>	<p>勤労生産奉仕活動</p> <p>風光明媚な相生学院高校の整潔活動に関わることを通して、勤労・奉仕の心を養い、母校を誇りに思う気持ちを涵養する。自然へ働きかける人間の技と文化を体感的に学ぶ。</p>	

地域や家庭等の連携
<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価の公開を行い、本校教育活動の理解を求める。 ・地域行事を大切にし、伝統ある行事に関心を持たせ、積極的に参加する態度を養う。 ・道徳教育の全体計画や道徳教育に関する諸活動などの情報を積極的に公表したり、道徳教育の充実のために家庭や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりすることを通して家庭や地域社会の共通理解を深める。

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探究の時間	私たちと情報社会 I	2			

目標	将来の就職に備えてIT知識の習得は必要不可欠である。国家試験「ITパスポート」の合格を目指すことで、将来の職業人として必要なITに関する基礎知識を習得させ、優秀な人材を育成する。
学習内容	本科目は「情報」をテーマに、「ITパスポート試験」で求められる、職業人が備えておくべきITに関する共通的な基礎知識のなかから、とくに基礎的な理論や法令等の考え方を学ぶ。
指導方法・指導体制	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習、発表や討論など名より、指導者の判断にて評価する。 【知識・技能】 情報の基礎的な理論に関する基礎的事項を理解している。 【思考・判断・表現】 情報の基礎的な理論がどのような場面で活用できるかを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題や面接指導に主体的に取り組んでいる。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	情報の基礎的な理論	2進数、8進法、10進法、16進数とそれらの基数変換を理解する。アナログデータとデジタル化、またデジタル化のメリットとデメリットを理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	7月 (12月) <small>(於相生市立生きがい交流センター)</small>	・情報に関する基礎的理論 ・セキュリティ(安全保障)に関する基本的考え方と自己分析 ・グループでの意見交換、共有、発表	2	レポート 行動観察 課題プリント
	5月 (11月)	コンピュータとセキュリティの基本的な考え方と情報社会における法律	コンピュータの仕組みやセキュリティの意識と必要性を理解する。法律や規則などの考え方を理解する。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)	7月 (12月) <small>(於相生市立生きがい交流センター)</small>			
								面接指導(単位時間) 合計	2

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探究の時間	私たちと情報社会Ⅱ	2			

目標	ICT・IoTやAIを主体的に活用していくこれからの情報社会について考え、それに伴う情報モラルや最新トピックを、昨今の社会の変化に合わせて幅広く学ぶことを通して情報社会に主体的に参画する態度を養う。
学習内容	本科目は「社会」をテーマに、社会を支えている「組織」に注目し、経営やマーケティングなどの理論を通じ、社会と私たちとの関係性を考える。
指導方法・指導体制	添削指導により基礎的内容の定着を図るとともに、面接指導においては少人数によるグループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学習活動を通して理解の深化を図る体制で指導を行う。
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習、発表や討論など名より、指導者の判断にて評価する。 【知識・技能】 企業組織、経営などに関する基礎的事項を理解している。 【思考・判断・表現】 自己に焦点をあてた経営について多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題や面接指導に主体的に取り組んでいる。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	企業活動と経営の考え方	企業活動や代表的な企業組織について理解する。経営の考え方、および資源管理について理解する。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	7月 (12月) <small>(於相生市立生きがい交流センター)</small>	・社会における企業の存在と組織一般論 ・人生を経営する視点と、マーケティングによる「価値」の見出し方。 ・グループでの意見交換、共有、発表。	2	レポート 行動観察 課題プリント
	5月 (11月)	マーケティングと価値の創造	経営資源の運用とマーケティングについて理解する。高度情報社会における自らの可能性と価値を理解する。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)	7月 (12月) <small>(於相生市立生きがい交流センター)</small>			
						面接指導(単位時間) 合計			2

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探求の時間	私たちと伝統文化 I	2	—	—	—

目標	日本古来の伝統芸能の陶芸について知識を得ると共に、実際に制作活動を通して、日本文化に触れ、グローバル時代における自国の文化を体感する機会を得る。
学習内容	播州野里焼の陶芸家 村尾先生の講義と制作活動の指導を受ける、前段階として事前学習に於いて陶芸についての基礎知識を学びレポートにまとめる。
指導方法・指導体制	外部担当講師を中心に、教科担当者と共に机間巡視を行い技術指導・学習態度指導などを行う。
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習態度より、評価する。 【知識・技能】 : 播州野里焼についての基礎知識をレポートを通して理解し、また制作活動時に村尾先生の技術指導を理解実践しているかを机間巡視等で確認する。 【思考・判断・表現】 : 陶芸作品制作を通して、自己表現・技術の修得が来ているか評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 : 作品制作に主体的に取り組み、それらを探究すると共に、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしているかをレポート及び実習を通じて評価する。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	6月 (12月)	WEB上の「陶芸体験の初心者には手ひねりがおすすめ！作り方や電動ろくろとの違いを紹介」 https://activityjapan.com/feature/pottery_handforming/ を視聴し、3つの項目 1, 陶芸体験手ひねりってどんな技法？ 2, 手ひねりはどんな人におすすめ？ 3, 手ひねりのコツと楽しみ方。 についてレポートにまとめておく。	基本的なところを押さえ、解りやすくまとめられている。	第1回	中間締切 6/30 (10/29)	6月 (12月)	村尾先生の指導の下、土から空気を抜く作業「土殺し」から始まり。順次整形へと進んでいき作品完成を目指す。	2	レポート 行動観察 陶芸作品
		「播州野里焼」の村尾先生の講義をまとめ、作品制作にあたっての創意工夫したところや感想をまとめる。	講義内容を正確にわかりやすくまとめられている、取り組む姿勢が積極的であり、創意工夫、新しい発見がある。		第2回				
面接指導(単位時間) 合計								2	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探求の時間	私たちと伝統文化Ⅱ	2	—	—	—

目標	日本古来の伝統芸能の陶芸について知識を得ると共に、実際に制作活動を通して、日本文化に触れ、グローバル時代における自国の文化を体感する機会を得る。
学習内容	播州野里焼の陶芸家 村尾先生の講義と制作活動の指導を受ける前段階として事前学習に於いて陶芸についての基礎知識を学びレポートにまとめる。
指導方法・指導体制	外部担当講師を中心に、教科担当者と共に机間巡視を行い技術指導・学習態度指導などを行う。
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	<p>レポートを含めた提出物および面接指導時における行動観察・実習態度などにより指導者の判断にて評価する。</p> <p>【知識・技能】:陶芸についての基礎知識を事前学習活動に於いてそしてまた、村尾先生の講義での技術指導を理解し作品作りをしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】:陶芸作品制作を通して、自己表現が出来ているか、または表現しようと努力工夫をしているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】:能動的に作品制作に主体的に取り組み、学びの中から知識を作品制作の中で体現しそれらを探究しようとすると共に、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしているか。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)
				回	締切日	時期	内容	時間	
前期 (後期)	6月 (12月)	WEB上の https://www.ceramic.or.jp/museum/yakimono/contents/history.html の「日本の焼き物/歴史」を視聴し、3つの項目 1, 分類 2, 産地リスト 3, 人間国宝 についてレポートにまとめておく。	基本的なところを押さえ、解りやすくまとめられている。	第1回	中間締切 5/29 (10/29) 最終締切 7/10 (12/16)	6月 (12月)	マグカップ、または皿を選ぶ何を描くかを決める。下絵をしっかりとバランスよく描き修正はこの時点で済ましておく。最終工程の本塗りをする。	2	レポート 行動観察 陶芸作品
		「播州野里焼」の村尾先生の講義をまとめ、作品制作にあたっての創意工夫したところや感想をまとめる。	講義内容を正確にわかりやすくまとめられている、取り組む姿勢が積極的であり、創意工夫、新しい発見がある。						
面接指導(単位時間) 合計								2	

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探求の時間	文化交流と国際交流 I	2	—	—	—

目標	<p>高等学校学習指導要領の趣旨(総合的な探究の時間及び公民分野)に基づき、次の資質・能力を育成する。</p> <p>【知識・技能】社会における職業や働き方、自己の特性に関する基礎的事項を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】社会の変化や将来の展望を踏まえ、自らの進路や生き方について多面的に考察し、適切に判断・表現する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自己理解を深め、主体的に将来の目標設定や学習に取り組もうとする態度を養う。</p>
学習内容	<p>(1)レポート学習 自分の周りの様々な環境問題について理解を深める。 自己の興味関心や価値観をもとに、環境に関する意識を具体化する。</p> <p>(2)面接指導(スクーリング) 小グループによる対話活動・発表活動を通じて、他者理解と自己表現力を育成する。 学習内容を活用し、自分の強みや行動傾向を振り返る。</p>
指導方法・指導体制	<p>(1)指導方法 ① レポート学習・添削指導 知識の習得および自己理解を目的とした課題に取り組ませる。記述式課題を通して、自らの考えを整理・表現させる。正誤の確認に加え、理解を深めるための解説を付す。記述内容については、生徒の考えを尊重しつつ具体性や発展性を高める助言を行う。</p> <p>② 面接指導(スクーリング) レポート内容の確認および発展的学習を行う。グループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学びを促進する。初対面の生徒同士でも安心して活動できるよう、役割分担(司会・記録・発表)を取り入れる。</p> <p>(2)指導体制 担当教員がレポート添削および面接指導を一体的に実施する。必要に応じて複数教員で指導内容を共有し、評価の妥当性・公平性を確保する。</p>
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	<p>※評価は、レポート等の提出物および面接指導時における行動観察、実習、発表や討論の様子等を踏まえ、指導者が総合的に判断する。</p> <p>【知識・技能】 児童の人権問題に関する基礎的事項を理解している。 環境問題等の自己理解に関する基本的知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会の変化や将来の生き方について多面的に考察している。 自分の考えや将来の目標を具体的かつ適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題や面接指導に主体的に取り組んでいる。 自己理解や将来設計に積極的に向き合い、学びを深めようとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法
				回	締切日	時期	内容	時間	
全期	6月 (11月)	ホームページ「ETHICAL CHOICE」を閲覧して身近な環境問題を学習する	自分と身の回りの環境について意識するようになる。	第1回	7/17 (12/16)	スクーリング 6月 (11月)	子どもの人権と環境について、知識をえて、自分なりの考えをつかむ。	2	レポート 取組態度 学習プリント
	6月 (11月)	ホームページ「ETHICAL CHOICE」を閲覧して世界の環境問題を学習する	自分と身の回りの環境について意識するようになる。	第2回					
								面接指導(単位時間) 合計	2

2026年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探求の時間	文化交流と国際交流Ⅱ	2	-	-	-

目標	<p>高等学校学習指導要領の趣旨(総合的な探究の時間及び公民分野)に基づき、次の資質・能力を育成する。</p> <p>【知識・技能】社会における職業や働き方、自己の特性に関する基礎的事項を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】社会の変化や将来の展望を踏まえ、自らの進路や生き方について多面的に考察し、適切に判断・表現する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自己理解を深め、主体的に将来の目標設定や学習に取り組もうとする態度を養う。</p>
学習内容	<p>(1)レポート学習 自分の周りの様々な水の問題について理解を深める。 自己の興味関心や価値観をもとに、環境に関する意識を具体化する。</p> <p>(2)面接指導(スクーリング) 小グループによる対話活動・発表活動を通じて、他者理解と自己表現力を育成する。 学習内容を活用し、自分の強みや行動傾向を振り返る。</p>
指導方法・指導体制	<p>(1)指導方法</p> <p>① レポート学習・添削指導 知識の習得および自己理解を目的とした課題に取り組みさせる。記述式課題を通して、自らの考えを整理・表現させる。正誤の確認に加え、理解を深めるための解説を付す。記述内容については、生徒の考えを尊重しつつ具体性や発展性を高める助言を行う。</p> <p>② 面接指導(スクーリング) レポート内容の確認および発展的学習を行う。グループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学びを促進する。初対面の生徒同士でも安心して活動できるよう、役割分担(司会・記録・発表)を取り入れる。</p> <p>(2)指導体制 担当教員がレポート添削および面接指導を一体的に実施する。必要に応じて複数教員で指導内容を共有し、評価の妥当性・公平性を確保する。</p>
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	<p>※評価は、レポート等の提出物および面接指導時における行動観察、実習、発表や討論の様子等を踏まえ、指導者が総合的に判断する。</p> <p>【知識・技能】 児童の人権問題に関する基礎的事項を理解している。 環境問題等の自己理解に関する基本的知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会の変化や将来の生き方について多面的に考察している。 自分の考えや将来の目標を具体的かつ適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題や面接指導に主体的に取り組んでいる。 自己理解や将来設計に積極的に向き合い、学びを深めようとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法
				回	締切日	時期	内容	時間	
全期	6月 (11月)	ホームページ「Virtual Water」を閲覧して身近な水の実態を学習する	生物の活動に必要な水について意識できるようになる。	第1回	7/17 (12/16)	スクーリング 6月 (12月)	世界の「5つの水資源」について、ビデオを通じて学習する。	2	レポート 取組態度 学習プリント
	6月 (11月)	ホームページ「Virtual Water」を閲覧して水の消費量の実態を学習する	生物の活動に必要な水について意識できるようになる。	第2回					
面接指導(単位時間) 合計								2	

2026年度 通信教育実施計画書

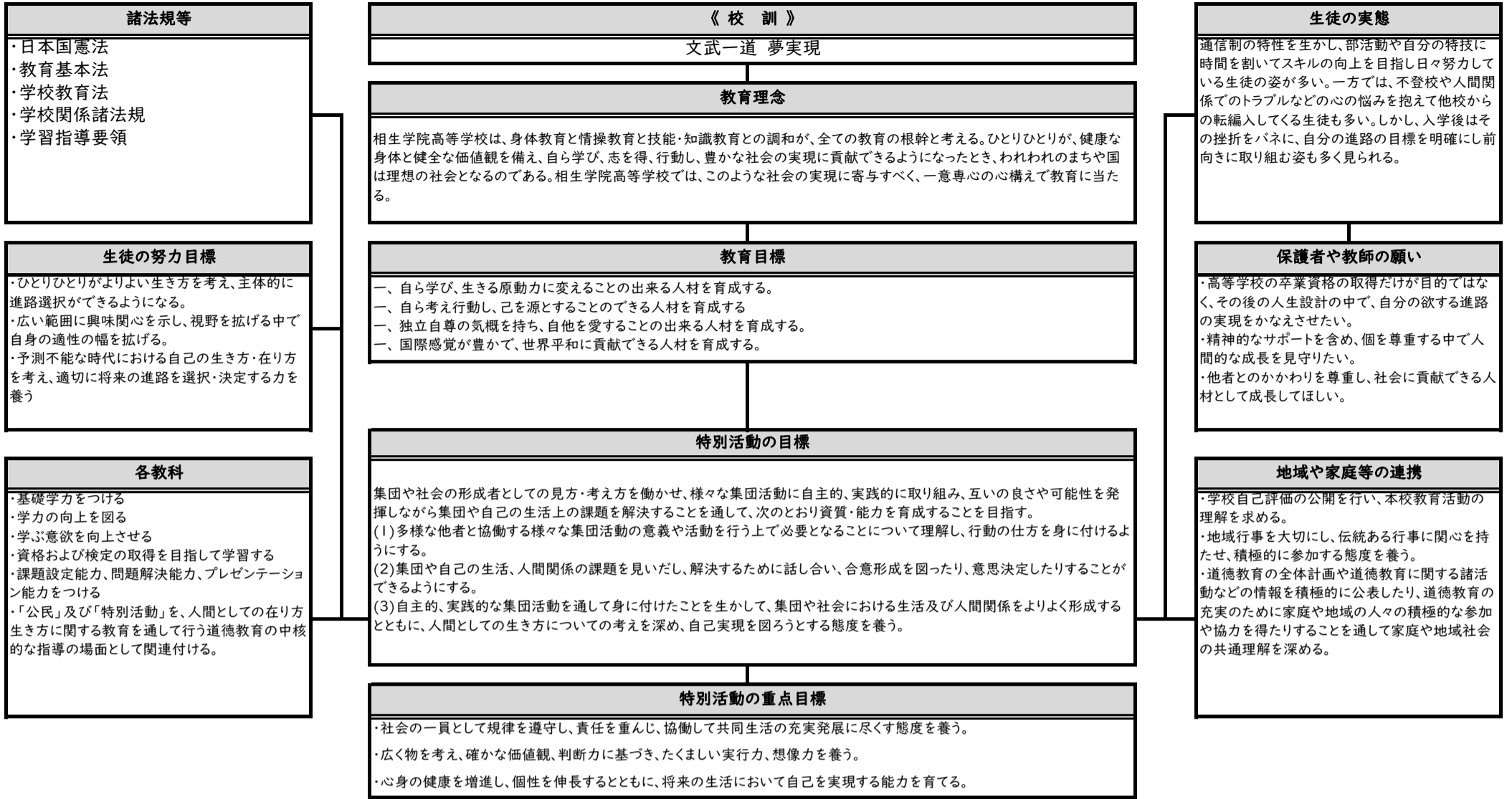
相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
総合的な探究の時間	私たちとこれからの社会	2	—	—	—

目標	<p>高等学校学習指導要領の趣旨(総合的な探究の時間及び公民分野)に基づき、次の資質・能力を育成する。</p> <p>【知識・技能】社会における職業や働き方、自己の特性に関する基礎的事項を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】社会の変化や将来の展望を踏まえ、自らの進路や生き方について多面的に考察し、適切に判断・表現する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自己理解を深め、主体的に将来の目標設定や学習に取り組もうとする態度を養う。</p>
学習内容	<p>(1)レポート学習 社会の職業構造、労働に関する基礎知識、将来の社会変化について理解を深める。自己の興味関心や価値観をもとに、職業観・人生設計を具体化する。エゴグラムを用いた自己分析により、自己理解を促進する。</p> <p>(2)面接指導(スクーリング) 小グループによる対話活動・発表活動を通じて、他者理解と自己表現力を育成する。エゴグラム結果を活用し、自分の強みや行動傾向を振り返る。</p>
指導方法・指導体制	<p>(1)指導方法</p> <p>① レポート学習・添削指導 知識の習得および自己理解を目的とした課題に取り組みさせる。記述式課題を通して、自らの考えを整理・表現させる。正誤の確認に加え、理解を深めるための解説を付す。記述内容については、生徒の考えを尊重しつつ具体性や発展性を高める助言を行う。</p> <p>② 面接指導(スクーリング) レポート内容の確認および発展的学習を行う。グループワークや発表活動を取り入れ、対話的な学びを促進する。初対面の生徒同士でも安心して活動できるよう、アイスブレイクや少人数グループ編成、役割分担(司会・記録・発表)を取り入れる。</p> <p>(2)指導体制 担当教員がレポート添削および面接指導を一体的に実施する。必要に応じて複数教員で指導内容を共有し、評価の妥当性・公平性を確保する。</p>
評価の観点・基準・方法 (観点別評価)	<p>※評価は、レポート等の提出物および面接指導時における行動観察、実習、発表や討論の様子等を踏まえ、指導者が総合的に判断する。</p> <p>【知識・技能】 社会の職業や働き方、労働に関する基礎的事項を理解している。 エゴグラム等の自己理解に関する基本的知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会の変化や将来の生き方について多面的に考察している。 自分の考えや将来の目標を具体的かつ適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題や面接指導に主体的に取り組んでいる。 自己理解や将来設計に積極的に向き合い、学びを深めようとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導(レポート)		面接指導(単位時間)			評価方法 (5段階評定)	
				回	締切日	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	(1)社会と職業 産業構造と職業の分類、サービス業をはじめとする多様な仕事の理解、労働に関する基礎知識(労働時間・働き方等) (2)職業観の形成 自分の興味・関心に基づく職業調査、仕事に必要な資質・能力の理解、働く意義や価値観の整理	・社会には多様な職業があることを理解する。 ・他者の考えを聞き、自分の視野を広げる。	第1回	中間締切 5/29 (10/29)	7月 (12月)	・アイスブレイク ・「共通点探しゲーム」 ・社会の仕事理解 ・レポート内容の確認(サービス業・職業分類)	1	レポート 行動観察 課題プリント	
	5月 (11月)	(3)将来設計 ライフステージの理解と人生設計、社会の変化(AI・少子高齢化等)への気づき、自分の将来像の具体化 (4)自己理解(エゴグラム) 性格特性の理解、自己の長所・強みの把握、より良い人間関係の築き方	・自分の性格や強みに気づく。 ・将来の生き方について考え、言語化できる。	第2回	最終締切 7/17 (12/16)	7月 (12月)	・役割分担(司会・記録・発表)を設定しグループワーク ・発言しやすいよう「1人30秒ルール」での発表・振り返り	1		
						面接指導(単位時間) 合計			2	

相生学院高等学校「特別活動」通信教育実施計画書



特別活動			
学業と進路	ホームルーム活動	儀式的行事	文化的行事
相生学院のガイダンス機能を高め、全教職員で生徒個々の進路実現の支援にあたる。 ・情報提供の機会と進路相談の充実を図る。 ・生徒指導の視点を含め、保護者を巻き込んだ三者懇談を実施する。 ・特別活動・総合的な探究の時間との連携を図る。 ・ハローワーク等、関係機関との効果的な連携を図る。 スクーリングを通じ、望ましい集団活動と健全な生活習慣を確立する。また、集団の一員としての自覚と、規律ある生活態度を育てる。 ・人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。	自立から独立と生き抜く力の醸成を目指す。自己の生き方についての考えを深め、自己に活かす能力を養う。	帰属意識を高め集団の一員としての自覚を促す。互いに協力し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてのよりよい人間関係の育成を図る。	芸術に身近に接し、文化的にも豊かな心を育む。伝統文化の継承に向けた自主的な取組を通じて、地域の一員として活動しようとする意欲を養い、郷土を愛する態度や心を養う。
	健康安全体育的行事	校外学習	勤労生産奉仕活動
	健康に関わる学習・体験を通して、生徒同士や地域の方とよりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育てる。	進んで人と交わり、その中で自己の役割を認め、理解し信頼しあえる人間関係を形成し、自主的・実践的な態度を育てる。	風光明媚な相生学院高校の整美活動に関わることを通じて、勤労・奉仕の心を養い、母校を誇りに思う気持ちを涵養する。自然へ働きかける人間の技と文化を体感的に学ぶ。

2026年度 特別活動計画一覧 (※ 相生市以外で特別活動を実施した場合は、相生本校で各特別活動の振り返り学習を実施した後それぞれの単位時間の認定を行います。)

活動名	内容	目的
入学式 (儀式的行事)	式典	学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行う。在校生にとっては新入生を迎える意義もある
第1回就職説明会 (ホームルーム活動)	ハローワークと高校が提携して行う新規高卒者就職斡旋についての説明を行い、年間の予定の確認と、現時点での各生徒の希望調査を行う	生徒への意識付けと今後の就職指導を円滑に行う
学校別進路ガイダンス (ホームルーム活動)	各進学先の説明会に参加する	卒業後の進路実現に向けての情報収集と、自己分析を行い進路選択へ活用する
ICT専門学校特別講座 (ホームルーム活動)	システムプログラムやグラフィックデザインなどの体験をする	体験講座を通じて自身の進路を考える一助とする
兵庫鍼灸専門学校説明会 (ホームルーム活動)	学校説明を行う	講義を通じて自身の進路を考える一助とする
ユニバーサルスタジオジャパン研修 (校外活動)	移動を含めた研修計画を立て、実施する	施設内のアトラクションやショーを通じ、楽しみながら自発的な学びに気づく
第2回就職説明会 (ホームルーム活動)	求人票の見方、応募書類の書き方を確認する	今後の就職指導を円滑に行う。
宍粟校探検2026 (校外学習)	一人ひとりが役割を果たし、全員の協力が必要な野外活動イベントを行う。	自然豊かな森や川で体を動かし、宍粟市の歴史・文化を感じる。他の学習校の生徒と協働作業を行い、親交を深める。地域社会の課題を考える。
絵本翻訳 (ホームルーム活動)	英語で書かれた絵本を翻訳し、コンテストに応募する	書き手の意図をくみ取りながら翻訳することで考える力を養い、語彙や表現力も高める
相生ペーロン体験乗船 (校外学習)	ペーロン船に体験乗船する	学校が所在する地域の伝統文化に触れ、他センターとの生徒とも交流を深める
牛乳パックでえんぴつ立てを作ろう (ホームルーム活動)	不要の牛乳紙パックをリサイクルして立体的に組み立て和紙を貼り、鉛筆立てを作成する	日本の伝統和紙の特徴や美しさを認識するとともに、不用品をリサイクルするSDGsの観点も学ぶ

論語ビレッジ (文化的行事)	論語漢詩検定試験を実施する	人の道を学び、今後の人生に生かしていく
ナゴヤダルマカエルの観察 (校外学習)	特定地域の希少生物の生態を観察、考察していく	生物とのかかわりの中で生命の尊さを学び、また、自分で課題を見つけ解決する力を養う
卒業記念品制作 (ホームルーム活動)	卒業生への卒業記念品を制作する	記念品を制作することで、学校への愛着を深め、また企画開発に関わることで創造力を身に付ける
第5回教育シンポジウム (文化的行事)	ゲストの講談を聞く	ゲストの講談、演奏を通じて生きることについて学ぶ
かがしコンテスト (ホームルーム活動)	相生市、羅漢の里で行われるかがしコンテストに出展する	農村文化や伝統行事の背景を学び、地域の魅力を再発見する
防災訓練 (健康安全体育的行事)	火事や地震・津波を想定した避難訓練を行う	実際に災害が発生した場合、どのように行動するかを学び自助、共助の意識を醸成する
はき初め書き初め (文化的行事)	伝統的行事に参加する	歴史ある地域の岩屋神社にて、地域との交流を図りながら社会の一員としての自覚を養う
裁判傍聴 (校外学習)	裁判を見学する	日本の司法制度について学ぶとともに、学習センターを離れて社会見学をすることで公共の精神を、現地までの移動手順を自ら考え集合時間に遅れないように集合することで自立心を養う
防災・減災について考えよう (ホームルーム活動)	防災・減災に関するワークショップに参加する	いつ、どこで、どんなことが起こるかわからない災害に備え、日ごろからできることは何かを考える
税に関する講義 (ホームルーム活動)	相生市税務署と選挙管理委員会のご協力のもと、税金や選挙についての講義を受ける	政府の役割・税の機能や意義を理解し、納税者として、納税の義務を果たすことの意義を理解する
エッグドロップコンテスト (ホームルーム活動)	紙を用いて卵を保護するプロテクターを作成し、高所から落下させる理科の実験を行う	実験を通じて物理やデザイン、設計などの要素を学ぶ
マネープランゲーム (ホームルーム活動)	体験型カードゲーム教材を使い、将来を見通した収支バランスの大切さを学び、自分の将来設計について考える	お金を通して生計を管理する基礎を身に付け、将来を見通しながらより豊かな生き方を実現するため、主体的に考え、工夫し、努力する態度を身に付ける
卒業式 (儀式的行事)	式典	学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行う。在校生にとっては卒業生を送る意義もある